

MIDI MATRIX

AMP CONTROLLER

取扱説明書

MIDI MATRIX

AMP CONTROLLER

目次

使用上の注意

Overview	1-2
クイックスタートガイド	2-3

コントロールと端子

STORE (LED)	3
STORE (ボタン)	4
SWITCHING FUNCTION ボタン&LED	4
DIP スイッチ	4
MIDI チャンネルスイッチ	5
9V AC/DC	5
MIDI IN	5
MIDI THRU	5
DIN (TO AMP FT-SW ジャック)	5
TRS1 (TO AMP EXT-SW OR FT-SW ジャック)	6
TRS2 (TO AMP EXT-SW OR FT-SW ジャック)	6
MESA/BOOGIEアンプと製品のコントロール	6-24
ケーブルのタイプと対応表	25-26

MIDI オペレーション

出荷時のデフォルト設定	27
MIDI メッセージ	27
MIDI プログラムチェンジ&プリセット	27
バンクの選択	27-28
MIDI コントロールチェンジ&ダイレクトアクセス	28
ユーザーデータダンプ(バックアップ)	29
ユーザーデータロード(リストア)	29-30
ソフトウェアバージョンSYSEXメッセージ	30

コンフィギュレーション&セットアップ・モード

MESA プレ・コンフィギュレーション	31
ラッチ/モーメンタリー スイッチング	31
ノーマリーオープン/クローズ スイッチング	31-32
リンクされたグループAの機能	32
リンクされたグループBの機能	32
リンクOFF&MIDI設定	32-33
ファクトリーリストア	33
ソフトウェアアップデート	33-34
SPECIFICATIONS	35
MIDI IMPLEMENTATION CHART	36-38

使用上のご注意

この説明書を読んで下さい。

この説明書を紛失しないように保管して下さい。

注意事項を必ず呼んでからご使用下さい。

安全事項に従ってご使用下さい。

水気のある場所の近くで本製品を使用しないで下さい。

汚れた時は乾いた布で拭いて下さい。

不適切な接続やグラウンド接地による本製品の故障・損傷は、保証の対象外となります。

本製品には、ユーザーが修理できる部品は含まれておらず、静電気放電(ESD)による損傷を受けやすいコンポーネントが含まれています。

正しい電圧と電流にご注意いただき、適切な定格の電源アダプターまたはユニバーサルペダルボード電源のみを使用してください。本製品に不適切な電圧または不十分な電流を印加すると、パフォーマンスの低下や誤動作、さらには損傷を引き起こす可能性があります。詳細については、「SPECIFICATIONS」および「コントロールと端子」のセクションをご参照ください。

3ピンAC電源コードプラグを使用することによるアンプのアースを無効にしたり、取り外したり、「リフトしたり」しないでください。違法であるだけでなく、感電の危険をもたらす可能性があります。

!! WARNING !! DIPスイッチを設定するときは、まずすべてのスイッチをOFFのポジションに設定し、アンプや制御対象の製品で使用されているDIPスイッチのみをONにしてご使用ください。これにより、DIPスイッチが不要なON状態で使用されることによるMIDI Matrix™アンプコントローラーおよび接続されているアンプや製品の故障や損傷を防止します。

上記の取り扱い注意事項と安全管理事項を必ず読んで下さい!

MIDI MATRIX

AMP CONTROLLER

取扱説明書

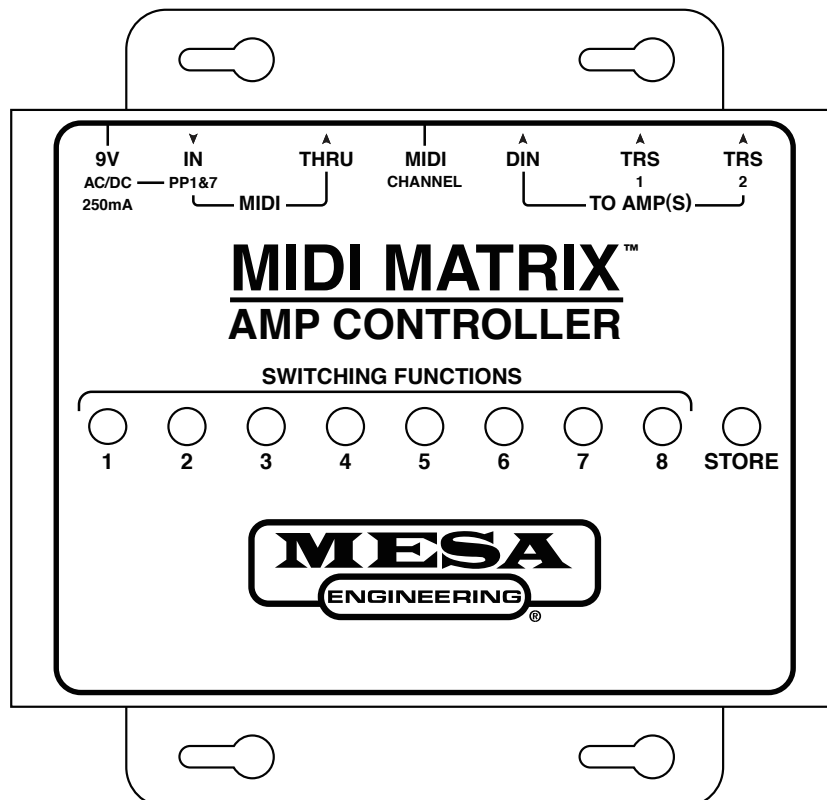
この度はMESA/Boogie製品をご購入頂きありがとうございます。そしてMESAファミリーへようこそ!卓越性への情熱、品質に対するコミットメント、そして顧客サポートへの誠実さが、カリフォルニア州ペタルマのMESA唯一のファクトリーで製造している全ての製品に等しく込められています。世界最高水準のアンプをハンドビルドしているのと同じメンバーがこのMIDI Matrix™を製造しており、全てのユーザーが同じリソースを手にするすることが可能です。それではお楽しみください!

OVERVIEW

MIDI Matrix™アンプコントローラーは、MESA/Boogieアンプのマルチピン・フットスイッチに代わって、アンプのチャンネルセレクトやEQ、エフェクトループ、ソロブースト、リバーブなどのON/OFF機能をMIDIによって簡単にオートメーション化することができます。これにより、ラックエフェクトやシステムボードを制御しているMIDIフットコントローラーを使用したアンプのチャンネルや機能の切替はもちろんのこと、これらを組み合わせたプリセットを作成してシステム内のあらゆる機器をボタン1つで切り替えることも可能です。また、1/4"のフットスイッチ/外部スイッチ端子を備えたMESA/Boogieアンプや同端子を備えた他社製品のスイッチングをオートメーション化することも可能です。

DIPスイッチとMESAプレ・コンフィギュレーションにより、MIDI Matrix™はMESA/Boogieが過去に製造したあらゆるアンプをほとんどの場合においてカスタムケーブルや他の外部機器を使用せずにオートメーション化させることができます。8ピンのDINスイッチと2つの1/4" TRS(Tip-Ring-Sleeve)スイッチングジャックは、完全にアイソレートされていることでグラウンドループによるハムやノイズを防ぎ、ニーズに応じて最大3台のアンプや他製品の機能を同時に切り替えることが可能です。

TOP VIEW: MIDI MATRIX™



MIDI Matrix™アンプコントローラーは、あらゆるMIDIフットコントローラーや様々なメーカーのMIDI対応マルチエフェクターと互換性があります。MIDIプログラムチェンジ、コントロールチェンジの各メッセージに対応しており、最大250のプリセットによるシームレスなシステム統合や、各機能へのダイレクトアクセスを可能にします。またコンパクトな設計のため、コンボ/ヘッドアンプやラック、さらにはペダルボードに設置することも可能です。

クイックスタートガイド

1. P6.「MESA/BOOGIEアンプと製品のコントロール」内の一覧表から、操作したいMESA/Boogieアンプまたは製品を特定します。

2. 必要なケーブルを所持しているか確認し、電源供給前に各DIPスイッチを表に記載の状態にセットします。

NOTE: MIDI Matrix™アンプコントローラー使用前には、まずP33.「ファクトリーリストア」の手順で工場出荷時の設定へリセットすることをお勧めいたします。

3. STOREボタンとSwitching Functionボタン#1を押しながら電源を入れると両方のLEDが点灯し、両方のボタンを離すとSTORE LEDのみが点灯したままになります。

4. 表に記載のあるとおりにSwitching Functionボタンを押して、各アンプまたは製品が要求するMESAプレ・コンフィギュレーションを選択します。MESAプレ・コンフィギュレーションが要求されない場合は、全てのLEDをOFFにしてください。

5. STOREボタンを押してMESAプレ・コンフィギュレーションのセッティングを保存します。するとMIDI Matrix™アンプコントローラーは自動的に再起動します。

NOTE: 一部のアンプおよび製品では、表のとおりモーメンタリーまたはノーマリークローズタイプとして設定された1つまたは2つの特定のSwitching Functionボタンだけを使用することがあります。その場合は「コンフィギュレーション&セットアップモード」のセクションを参照し、クイックスタートの操作を続ける前に必要な変更を加えてください。

6. MIDIフットコントローラーをMIDI IN端子に接続し、「MESA/BOOGIEアンプと製品のコントロール」の表のとおりMIDI Matrix™アンプコントローラーと接続先のアンプ等機器間に必要なケーブルを接続してください。

7. MIDI Matrix™アンプコントローラー上のアサインされたSwitching Functionボタンを押して、表のとおりアンプ等機器のチャンネルや機能が切り替わることを確認してください。

8. 工場出荷時のデフォルトのMIDI設定では、MIDIチャンネル#1でMIDIプログラムチェンジ・メッセージを受信します。MIDIフットコントローラー側の送信設定が同一チャンネルになっていることを確かめてください。または「コントロールと端子」のセクションを参照してMIDIチャンネルスイッチの設定を変更するか、「コンフィギュレーション&セットアップモード」のセクションを参照してMIDI Matrix™アンプコントローラーが応答するMIDIメッセージのタイプをプログラムチェンジからコントロールチェンジへ変更してください。

NOTE: MIDIコントロールチェンジ・メッセージを送信できるMIDIフットコントローラーを使用する場合は、MIDIフットコントローラー側のボタンをアサインすることでMIDI Matrix™側のそれぞれのSwitching Functionボタンへダイレクトにアクセス可能です。この場合、8つのSwitching FunctionボタンのON/OFF状態のプリセットの組み合わせをメモリーに保存するのは実際にはMIDIフットコントローラー側です。詳細は「MIDIコントロールチェンジ&ダイレクトアクセス」のセクションをご参照ください。

NOTE: MIDIフットコントローラーを操作したときにSTOREボタンのLEDが素早く点滅するにもかかわらず8つのSwitching FunctionスイッチのON/OFFが切り替わらず、またSTOREボタンを押してもプリセットが保存されない場合は、有効なMIDIメッセージを受信していない可能性があります。MIDI Matrix™アンプコントローラーとMIDIフットコントローラーが同タイプのMIDIメッセージを同じMIDIチャンネルで送受信するように設定されているか確認してください。

MIDIコントロールチェンジ・メッセージを使用する場合：

9. それぞれのSwitching FunctionスイッチにアサインされたMIDIコントロールチェンジ・メッセージとMIDI Matrix™アンプコントローラーのMIDIチャンネル設定に沿って、MIDIフットコントローラーの各ダイレクトアクセスボタンをプログラムします。

10. MIDI フットコントローラーのダイレクトアクセスボタンを押すと、STOREボタンのLEDが素早く1回点滅します。これは、MIDIコントロールチェンジ・メッセージを受信したことを示し、それと同時に押したダイレクトアクセスボタンにアサインしたSwitching FunctionスイッチのON/OFFが切り替わります。

MIDIプログラムチェンジ・メッセージを使用する場合：

9. お使いのMIDIフットコントローラーでプリセットを選択すると、STOREボタンのLEDが素早く1回点滅し、MIDIプログラムチェンジ・メッセージを受信したことを示します。
10. アサインされたSwitching Functionボタンを押して任意のアンプ等機器側のチャンネルまたは機能をON/OFFし、STOREボタンを押して設定を保存します。STOREボタンのLEDがゆっくりと1回点滅し、設定が保存されたことを示します。
11. お使いのMIDIフットコントローラーでプリセットを選択すると、保存した設定が呼び出されます。
12. 9と10を繰り返して、他のプリセットとMIDIプログラムチェンジ・メッセージも確認しましょう。

コントロールと端子

大音量のノイズによるダメージからスピーカー等の機材を保護するため、機材セット内の全ての機器の電源をOFFにするか、少なくともアンプの音量をゼロにした状態で当製品との接続を行うことをお勧めいたします。

ボタンを押さずに電源に接続するとSTOREボタンのLEDがゆっくりと点滅し、8個のSwitching FunctionスイッチとLEDはOFFのままになります。

STORE (LED)

この赤色のLEDは、使用中のオペレーションモードや各機能に応じてさまざまな状態を示します。

ノーマルオペレーション時

- ・起動時にゆっくりと1回点滅します。
- ・MIDIチャンネルスイッチの変更時にゆっくりと1回点滅します。
- ・8個のSwitching FunctionスイッチのON/OFF状態をプリセットに保存するためにSTOREボタンを押すと、ゆっくりと1回点滅します。
- ・MIDIプログラムチェンジまたはコントロールチェンジ・メッセージを受信した際、正しく受信すると素早く1回点滅します。
- ・MIDI受信エラーが発生した場合はONのままになります。エラーは、MIDIチャンネルを切り替えることでクリアされます。

ユーザーデータのダンプ&ロード時

- ・ユーザーデータのロードが正常に完了すると、ゆっくりと1回点滅します。
- ・ユーザーデータダンプを送信するためにSTOREボタンを押すと、ゆっくりと2回点滅します。
- ・データが正しくロードされなかった場合はONのままになります。別のデータが正しくロードされるとOFFになります。またMIDIチャンネルを切り替えたり、STOREボタンを押してユーザーデータダンプ行ったりすることでLEDはOFFになります。
- ・ユーザーデータのロード中にEEPROMメモリにエラーが検出された場合は、素早く点滅し続けます。これは、ユーザーデータEEPROMメモリがある場所に1つ以上の不具合があった(または生じた)ことを示します。

ソフトウェア・アップデート・モード

- ・ソフトウェア・アップデート・ファイルの受信待機中、または1つ前のファイルの受信に失敗した際、LEDはONのままになります。
- ・ソフトウェア・アップデート・ファイルの受信中は素早く点滅を繰り返します。

コンフィギュレーション&セットアップ・モード

- ・コンフィギュレーション&セットアップ・モード中はONのままになります。
- ・ファクトリーリストア中にユーザーデータEEPROMメモリにエラーが検出された場合、点滅を繰り返します。これはユーザーデータEEPROMメモリがある場所に1つ以上の不具合があった(または生じた)ことを示します。

STORE (ボタン)

このボタンは、8つのSwitching FunctionボタンのON/OFF状態をMIDIプリセットに保存する際や、ユーザーデータダンプ・ファイルやMIDI SysExメッセージを送信する際に使用します。また、他のボタンと組み合わせて使用する場合があります。2つのボタンを押したまま電源を接続することで、コンフィギュレーション&セットアップ・モードに移行します。詳細は「コンフィギュレーション&セットアップ・モード」および「MIDIオペレーション」のセクションをご参照ください。

MIDI Matrix™アンプコントローラーがMIDIコントロールチェンジ・メッセージを受信する設定の時にMIDIコントロールチェンジもしくはプログラムチェンジ・メッセージを受信しても反応していない場合、STOREボタンを押しても効果はありません。

起動してから何らかのMIDIメッセージを受信するまで、または成功したかどうかに関わらずユーザーデータロード・ファイルを受信した後にこのボタンを押すと、ユーザーデータダンプ・ファイルがMIDIスルー/アウトジャックから出力されます。STOREボタンを押してユーザーデータダンプを送信すると、LEDはゆっくりと2回点滅します。

MIDI Matrix™アンプコントローラーがMIDIプログラムチェンジ・メッセージを受信する設定で、MIDIチャンネルスイッチと同じチャンネル設定でプログラムチェンジ・メッセージを受信した場合、このボタンを押すとユーザーデータEEPROMメモリ(不揮発性)にMIDIプリセットとして8つのSwitching FunctionスイッチのON/OFF状態が保存されます。STOREボタンを押してMIDIプリセットを保存すると、STORE LEDがゆっくり1回点滅します。

NOTE: 任意のMIDIチャンネルでMIDIコントロールチェンジまたはプログラムチェンジ・メッセージを受信すると、ユーザーデータダンプは無効になります。プリセットの保存は、MIDIチャンネルスイッチの設定と同じMIDIチャンネルでMIDIプログラムチェンジ・メッセージを受信した後のみ有効となります。

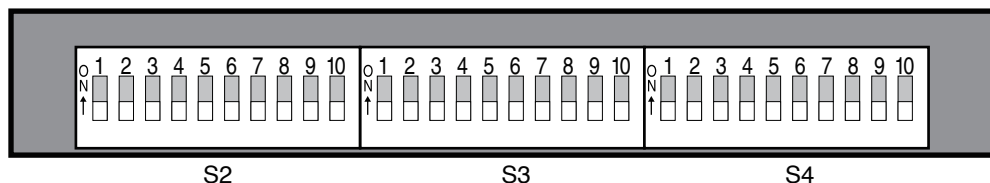
SWITCHING FUNCTION ボタン & LED

8つのボタンは、それぞれのSwitching FunctionをON/OFFするのに使用します。Switching FunctionがON時はLEDが点灯し、OFF時は消灯します。Switching Functionは、チャンネルやEQ、エフェクトループ、ミュート、リバース、ソロボースト等のMIDI受信機能を搭載していないMESA/Boogieアンプや製品のフットスイッチ操作またはリモートコントロール可能な全ての機能をコントロールできます。操作中のMESA/Boogieアンプや製品とDIPスイッチの設定により、たいていの場合8つのSwitching Functionボタンのどれがアンプや製品の特定の機能を制御するかを決定します。詳細は「MESA/BOOGIE アンプと製品のコントロール」のセクションをご参照ください。

NOTE: Switching Function #5～#8はDINジャックおよびTRSジャックで操作可能です。これらのジャックはそれぞれアイソレートされていますが、別々に切り替えることはできません。例えば、Switching Function #5のボタンを押した時、DINジャックとTRSジャック両方のON/OFF状態が同時に切り替わります。#6～#8についても同様です。これにより、それぞれ別々のジャックに接続している複数のアンプや製品を同時にシンクロさせて切り替えることができます。

DIP スイッチ

この30個のDIPスイッチの配列とプログラマブルMESAプレ・コンフィギュレーションによって物理的(および電氣的)にMIDI Matrix™アンプコントローラーを設定およびセットアップして、フットスイッチ・ジャックまたは外部スイッチジャックを備えたあらゆるMESA/Boogieアンプや製品をコントロールします。制御対象のアンプと製品に合わせたDIPスイッチの設定方法に関する詳細については「MESA/BOOGIE アンプと製品のコントロール」のセクションをご参照ください。DIPスイッチは、底面のマウンティングプレートの4本のネジを外すことで長方形の穴越しに操作することが可能です。



!!WARNING!! DIPスイッチを設定する際は、予め全てのDIPスイッチをOFFに設定して、操作したいアンプや製品に対応するDIPスイッチのみをONにすることをお勧めいたします。これによりDIPスイッチがONであることを忘れたまま操作してしまい、MIDI Matrix™アンプコントローラーや接続中のアンプまたは製品がダメージを受ける恐れを防ぎます。

MIDI チャンネルスイッチ

この16ポジションのロータリースイッチは、MIDIメッセージを受信するMIDIチャンネルを選択し、有効化するために使用します。MIDIチャンネルスイッチのポジションを変更するとSTOREボタンのLEDがゆっくり1回点滅します。

MIDI CHANNEL スイッチポジション	選択される MIDI CHANNEL	MIDI CHANNEL スイッチポジション	選択される MIDI CHANNEL
0	#1	8	#9
1	#2	9	#10
2	#3	A	#11
3	#4	B	#12
4	#5	C	#13
5	#6	D	#14
6	#7	E	#15
7	#8	F	#16

9V AC/DC

スタンダードな9V ACまたはDCアダプターまたはペダルボード用パワーサプライから給電するための2.1 x 5.5mmバレルコネクタタイプの電源ジャックです。詳細は「SPECIFICATIONS」のセクションをご参照ください。

NOTE: 電源アダプターは同梱されていません。

!!WARNING!! 上記および「SPECIFICATIONS」のセクションに記載された仕様に準拠するACまたはDCパワーサプライ以外は絶対に使用しないでください。製品を損傷する恐れがあり、仕様以外の電源のご使用による故障については保証対象外となります。

MIDI IN

MIDIメッセージを受信する7ピンDINジャックで、スタンダードな5ピンMIDIケーブルも接続可能です。7ピンのMIDIケーブルで互換性のあるMIDIフットコントローラーを接続すると、9V AC/DCジャックから入力された電源をコントローラーへファンタム供給することもできます。ファンタム電源を必要としない場合は5ピンのMIDIケーブルを使用してください。大半のMIDIフットコントローラーは9V ACまたは9V DCで動作しますが、念のためコントローラーの電源仕様をご確認の上でご使用ください。ファンタム電源を供給する際はMIDI Matrix™アンプコントローラーとMIDIフットコントローラーの合計消費電流がアダプターの供給電流値を上回らないようにご注意ください。

MIDI THRU

MIDI INで受信したMIDIメッセージを変更せずに他のMIDIデバイスへ出力するスタンダードな5ピンDINジャックです。MIDI Matrix™アンプコントローラーで生成されるユーザーデータダンプ・ファイルやMIDI SysExメッセージの出力するMIDI OUTとしても機能します。

DIN (TO AMP FT-SW ジャック)

MIDI Matrix™アンプコントローラーでお使いのアンプを操作するために、MESA/Boogie製のフットスイッチ・ケーブルの片側を接続するための8ピンDINジャックです。ケーブルの反対側はアンプのフットスイッチ・ジャックへ接続します。初めてこのジャックにアンプを接続する際は、まず「MESA/BOOGIE アンプと製品のコントロール」のセクションを参照して、MIDI Matrix™アンプコントローラーで操作したいアンプや製品の詳細および重要事項をご確認ください。

!!WARNING!! DIPスイッチを切り替えることで、グラウンドのリファレンスを変更できます。複数のデバイスを操作する際にグラウンドループの発生を防ぐため、このジャックは常にアイソレートされています。このジャック1つで複数のアンプや製品を制御するためにブレイクアウト・ボックスやケーブルを使うことは絶対にお止めください。これにより高確率でグラウンドループが発生しハムやノイズが生じるだけでなく、MIDI Matrix™アンプコントローラーや接続された全ての機器にダメージを与える可能性があります。

TRS1 (TO AMP EXT-SW OR FT-SWジャック)

Switching Function #5(Ring)および#7(Tip)を出力する1/4"TRSジャックで、様々なアンプや製品に搭載された1/4"フットスイッチ・ジャックまたは外部スイッチ用ジャックに接続できます。モノラル(Tip-Sleeve)またはステレオ(Tip-Ring-Sleeve)どちらのケーブルにも対応しています。初めてこのジャックにアンプを接続する際は、まず「MESA/BOOGIE アンプと製品のコントロール」のセクションを参照し、MIDI Matrix™アンプコントローラーで操作したいアンプ等製品の詳細および重要事項をご確認ください。

TRS2 (TO AMP EXT-SW OR FT-SW ジャック)

Switching Function #5(Ring)および#7(Tip)を出力する1/4"TRSジャックで、様々なアンプや製品に搭載された1/4"フットスイッチ・ジャックまたは外部スイッチ用ジャックに接続できます。モノラル(Tip-Sleeve)またはステレオ(Tip-Ring-Sleeve)どちらのケーブルにも対応しています。初めてこのジャックにアンプを接続する際は、まず「MESA/BOOGIE アンプと製品のコントロール」のセクションを参照し、MIDI Matrix™アンプコントローラーで操作したいアンプ等製品の詳細および重要事項をご確認ください。

!!WARNING!! 2つのTRSジャックのスリーブは他のすべてのジャックからアイソレートされており、複数のデバイスを制御する際に発生しやすいグラウンドループを防ぎます。このTRSジャック1つから2つの異なるアンプまたは製品を制御するために、Yケーブルやインサートケーブルを使用しないでください。これにより高確率でグラウンドループが発生しハムやノイズが生じるだけでなく、MIDI Matrix™アンプコントローラーや接続された全ての機器にダメージを与える可能性があります。

MESA/BOOGIEアンプと製品のコントロール

MIDI Matrix™アンプコントローラーの当初の開発目標は、単一のDINまたはXLRスイッチジャックを備えたMESA/Boogieアンプ用のオールインワンMIDIコントローラーを製作することでした。MESA製品の歴史を辿り、アンプを始めとした製品の仕様、ジャックのタイプ、スイッチング機能などの詳細をリストにまとめた結果、2つの1/4" ジャックを加える必要があると判断しました。これにより、MESA/Boogieがこれまでに製造してきたあらゆるアンプと製品を制御できるソリューションが誕生したのです。複数のジャックを搭載したことで、ジャックのタイプやコントロールしたい機能にもよりますが、2台または3台のアンプや製品を同時に制御できるようにもなりました。もう1つの大きな目標は、高額なカスタムケーブル/外部機器を必要とせずあらゆるMESA/Boogieアンプと製品を制御できるようにすることでしたが、これも一部製品を除いて成功したのです。MIDI Matrix™アンプコントローラーでMESA/Boogieアンプと製品を制御するのに用いるケーブルについては「ケーブルタイプと相互参照」のセクションを参照してください。

MIDI Matrix™アンプコントローラーでお手持ちのアンプや製品を複数台同時に制御できるかは、以下の表の「@GLANCE」の列でご確認いただけます。各アンプや製品が必要とするジャックおよびSwitching Functionがチェックマークで示されており、使用しない箇所(=別のアンプや製品に使用できる箇所)は「X」マークで示されています。接続したい複数台のアンプでジャックおよびSwitching Functionのチェックマークがいずれも重複していないことを確かめてください。

例1: 2ch RectifierとNomad 100は同時に操作できます。RectifierはTRS1、TRS2、Switching Function #7、#8を使用し、Nomad 100はDINジャックとSwitching Function #1、#6を使用します。

例2: もし2台のアンプに接続するものの一度に出力するのは1台だけである場合(例えばMESA Head-SwitcherやABYを用いる場合)、Switching Function #5~#8を2台で共有することも可能です。DINジャックとTRSジャックがそれぞれ完全にアイソレートされているので、例えばMark VはDINジャックで、Electra DyneやRoyal Atlantic、TA30もしくは2ch RectifierのいずれかはTRSジャックを介して制御することができます。2台のアンプを同時に出力する場合も、共有されたSwitching Function #5~#8を使うことで2台のアンプのチャンネルや機能が同時に切り替わる点は共通です。

NOTE: 多くのMESA/Boogieアンプと製品はノーマリーオープン(N.O.)のラッチタイプのSwitching Functionを採用しています。例外としてReverbがあり、こちらはノーマリークローズド(N.C.)のラッチタイプのSwitching Functionが必要となる場合があります。当マニュアル発行時点までに見つかったその他の例外については下記の表に記してありますが、もしかしたらまだ見落としているものがあるかもしれません。N.C.またはモーメンタリータイプでのスイッチング、またはその他の組み合わせを要する場合は、単純に設定を変更することで制御可能になります。例外的に、Switching FunctionがMesaブレ・コンフィギュレーションによってリンクされている場合、切替方式は変更できません。例えば、下表の3chのDual/Triple Rectifierの行をご参照ください。Switching Function #1~#3は、チャンネル選択用としてMesaブレ・コンフィギュレーションによりリンクされているため、これら3つをN.C.やモーメンタリータイプへ変更することは出来ません。しかし、リンクされていないSwitching Function #4または#5および#7は、必要に応じてスイッチングタイプを変更できます。

!!WARNING!! DIPスイッチをセットする際は、まずすべてのDIPスイッチをOFFにセットした上で、制御したいアンプや製品で使用するDIPスイッチのみをONにすることをお勧めいたします。これにより、DIPスイッチがONであることを忘れたまま操作することで発生するMIDI Matrix™アンプコントローラーや接続したアンプおよび製品へのダメージを防ぐことができます。

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表											
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8	
2-Channel Dual Rectifier 2-Channel Triple Rectifier 50 Caliber+ Fillmore 25 Fillmore 50 Fillmore 100 Heartbreaker Mark I Mark II/A Maverick Rectoverb 25 Studio 22 Studio 22+ Studio Caliber DC-2(A) V-Twin Pedal	MESAプレ・コンフィギュレーション: なし DIP スイッチ(ON): TRSジャック用にはなし ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること TRS1ジャック用ケーブル: スタンダード ¼" TS ケーブル TRS2ジャック用ケーブル: スタンダード ¼" TS ケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #7 - チャンネル/機能(TRS1) #8 - チャンネル/機能(TRS2) ※V-Twin Pedal外部バイパスは N.C.切替への変更を要します。	X	✓	✓	X	X	X	X	X	X	X	✓	✓
50 Caliber Bass 400 Bass 400+ Bass Buster 200 Blue Angel California Tweed 6V6 4:40 Head-Track King Snake M3 Carbine Mini Rectifier 25 Rectifier Stereo 2:100 Simul 395 Stereo Strategy 500 Stereo Subway D-800+ TransAtlantic TA15	MESAプレ・コンフィギュレーション: なし DIP スイッチ(ON): TRSジャック用にはなし ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること TRS2ジャック用ケーブル: スタンダード ¼" TS ケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #8 - チャンネル/機能(TRS2)	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	✓

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
Big Block 750 Lone Star (All Versions) M9 Carbine Mark Five:25 Rectifier Recording Preamp Revolver Solo/Single Rectifier 50 (Series I)** Solo/Single Rectifier 50 (Series IIA) Stiletto (All Versions) Subway TT-800 Subway WD-800 Subway Rocket (Non-Rvrb)	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: なし</p> <p>DIP スイッチ(ON): TRSジャック用にはなし ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>TRS2ジャック用ケーブル: スタンダード ¼" TRS ケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #6 - チャンネル/機能(TRS2 - Ring) #8 - チャンネル/機能(TRS2 - Tip)</p>	X	X	✓	X	X	X	X	X	✓	X	✓
<p>** TRS 2のスリーブを他のグラウンドやプラグ、スリーブと絶対に接触させてないでください。高確率で機器が損傷します！(N3V)</p>	<p>Single Rectifier Series IとSeries IIの見分け方: Series Iは“Vintage/Modern”と記された2ndチャンネル用の2ポジションのモードスイッチを装備しています。 Series IIは“Raw/Vintage/Modern”と記された3ポジションのモードスイッチと5ピンDINフットスイッチジャックを背面に装備しています。 Series IIAのアンプは“Raw/Vintage/Modern”と記された3ポジションのモードスイッチと¼"フットスイッチジャックを正面のインプットジャック下部に装備しています。</p>											

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
Solo/Single Rectifier 50 (Series II)	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: なし</p> <p>DIP スイッチ(ON): S2 - 2 / 4 / 10 S3 - 2 / 4 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>DINジャック用ケーブル: 既存の5ピンDINフットスイッチケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #2 - Solo ON/OFF #4 - チャンネルセレクト</p> <p>Single Rectifier Series IとSeries IIの見分け方: Series Iは“Vintage/Modern”と記された2nd チャンネル用の2ポジションのモードスイッチ を装備しています。 Series IIは“Raw/Vintage/Modern”と記された 3ポジションのモードスイッチと5ピンDINフット スイッチジャックを背面に装備しています。 Series IIAのアンプは“Raw/Vintage/Modern” と記された3ポジションのモードスイッチと¼” フットスイッチジャックを正面のインプット ジャック下部に装備しています。</p>	✓	X	X	X	✓	X	✓	X	X	X	X
DC-3(A) DC-3(B) DC-5(A) DC-5(B) DC-10(B) Mark IIB ** Mark IIC+ ** Rosette 300/One:Ten Rosette 300/Two:Eight Studio Caliber DC-2(B) Studio Pre ** TransAtlantic TA30	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: なし</p> <p>DIP スイッチ(ON): TRSジャック用にはなし ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>TRS1ジャック用ケーブル: スタンダード ¼” TS ケーブル</p> <p>TRS2ジャック用ケーブル: スタンダード ¼” TRS ケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #6 - チャンネル/機能(TRS2 - Ring) #7 - チャンネル/機能(TRS1) #8 - チャンネル/機能(TRS2 - Tip)</p> <p>※Studio Pre ReverbはN.C.切替を要します。</p>	X	✓	✓	X	X	X	X	X	✓	✓	✓
** アンプにEQとリバーブ用に¼” TSジャックが個別である場合 は、下記を参照してください。												

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
Mark IIB Mark IIC+ Studio Pre アンプにEQとリバーブ用の¼” TRSジャックが1個ある場合は、上記を参照してください。	MESAプレ・コンフィギュレーション: なし DIP スイッチ(ON): TRSジャック用にはなし ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること TRS1ジャック用ケーブル: スタンダード ¼” TS ケーブル TRS2ジャック用ケーブル: 市販の¼” TRS – 2x¼” TSケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #6 - EQ ON/OFF(TRS2 – Ring) #7 - Lead/Rhythm(TRS1) #8 - Reverb ON/OFF(TRS2 - Tip)*** *** N.C.切替に設定してください。	X	✓	✓	X	X	X	X	X	✓	✓	✓
3-Channel Dual Rectifier (Non Multi-Watt) 3-Channel Triple Rectifier (Non Multi-Watt)	MESA プレ・コンフィギュレーション: #1 DIP スイッチ(ON): S2 - 5 / 7 / 10 S3 - 5 / 7 S4 - 1 / 2 / 3 / 4 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: 既存の7ピンDINフットスイッチケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - チャンネル 1 #2 - チャンネル 2 #3 - チャンネル 3 #5 - Solo ON/OFF #7 - FX Loop ON/OFF	✓	X	X	✓	✓	✓	X	✓	X	✓	X
3-Channel Dual Rectifier Multi-Watt Version 3-Channel Triple Rectifier Multi-Watt Version	MESA プレ・コンフィギュレーション: #1 DIP スイッチ(ON): S2 - 4 / 5 / 7 / 10 S3 - 4 / 5 / 7 S4 - 1 / 2 / 3 / 4 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: 既存の7ピンDINフットスイッチケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - チャンネル 1 #2 - チャンネル 2 #3 - チャンネル 3 #4 - Mute ON/OFF #5 - Solo ON/OFF #7 - FX Loop ON/OFF	✓	X	X	✓	✓	✓	✓	✓	X	✓	X

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
Amp Switcher	MESAプレ・コンフィギュレーション: #6 またはなし(個別にON/OFF) DIP スイッチ(ON): TRSジャック用にはなし ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること TRS1ジャック用ケーブル: 市販の¼" TRS - 2x¼" TSケーブル TRS2ジャック用ケーブル: 市販の¼" TRS - 2x¼" TSケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #5 - アンプ 1 ON/OFF #6 - アンプ 2 ON/OFF #7 - アンプ 3 ON/OFF #8 - アンプ 4 ON/OFF	X	✓	✓	X	X	X	X	✓	✓	✓	✓
Basis M-2000	MESAプレ・コンフィギュレーション: #7 DIP スイッチ(ON): S2 - 10 S3 - 5 / 6 S4 - 1 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: カスタムDIN 7ピン - XLR6ケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - FET #2 - Mix #3 - Tube #4 - Tube Hi-Gain #5 - EQ-Tube ON/OFF #6 - EQ-FET ON/OFF	✓	X	X	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	X
Bass Prodigy Four:88	MESAプレ・コンフィギュレーション: なし DIP スイッチ(ON): S2 - 1 / 3 / 6 / 7 / 9 S3 - 1 / 3 / 6 / 7 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: 既存の8ピンDINフットスイッチケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - FX ON/OFF #3 - Voice ON/OFF #6 - Solo ON/OFF #7 - Mute ON/OFF	✓	X	X	✓	X	✓	X	X	✓	✓	X

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
Bass Strategy Eight:88	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: なし</p> <p>DIP スイッチ(ON): S2 - 1 / 2 / 3 / 6 / 7 / 9 S3 - 1 / 2 / 3 / 6 / 7 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>DINジャック用ケーブル: 既存の8ピンDINフットスイッチケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - FX ON/OFF #2 - EQ ON/OFF #3 - Voice ON/OFF #6 - Solo ON/OFF #7 - Mute ON/OFF</p>	✓	x	x	✓	✓	✓	x	x	✓	✓	x
Big Block Titan V-12	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: なし</p> <p>DIP スイッチ(ON): S2 - 1 / 4 / 5 / 6 / 7 S3 - 1 / 4 / 5 / 6 / 7 / 9 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>DINジャック用ケーブル: 既存の7ピンDINフットスイッチケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - A/Bセレクト #4 - Drive ON/OFF #5 - Solo ON/OFF #6 - Mute ON/OFF #7 - チャンネルセレクト</p>	✓	x	x	✓	x	x	✓	✓	✓	✓	x

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
Dual Rectifier Road King (Series I) Dual Rectifier Road King IIA (s/n 2148 ~ 2647)	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: #2</p> <p>DIP スイッチ(ON): S2 - 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 10 S3 - 4 / 5 / 6 / 7 / 8 S4 - 1 / 2 / 3 / 4 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>DINジャック用ケーブル: 既存の8ピンDINフットスイッチケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - チャンネル1 #2 - チャンネル2 #3 - チャンネル3 チャンネル4は1~3が全てOFFの時に 選択されます。 #4 - FX1 ON/OFF #5 - Solo ON/OFF #6 - FX2 ON/OFF #7 - Reverb ON/OFF *** #8 - Ext. Trigger ON/OFF ^^ *** N.C.切替に設定してください。 ^^ モーメンタリー切替に設定してください。</p>	✓	X	X	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Dual Rectifier Road King IIB (s/n 2648 以降)	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: #2</p> <p>DIP スイッチ(ON): S2 - 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 10 S3 - 4 / 5 / 6 / 7 / 8 S4 - 1 / 2 / 3 / 4 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>DINジャック用ケーブル: 既存の8ピンDINフットスイッチケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - チャンネル1 #2 - チャンネル2 #3 - チャンネル3 チャンネル4は1~3が全てOFFの時に 選択されます。 #4 - FX1 ON/OFF #5 - Solo ON/OFF #6 - FX2 ON/OFF #7 - Reverb ON/OFF *** #8 - Mute ON/OFF *** N.C.切替に設定してください。</p>	✓	X	X	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
Dual Rectifier Roadster	MESAプレ・コンフィギュレーション: #2 DIP スイッチ(ON): S2 - 4 / 5 / 6 / 7 / 10 S3 - 4 / 5 / 6 / 7 S4 - 1 / 2 / 3 / 4 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: 既存の8ピンDINフットスイッチケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - チャンネル1 #2 - チャンネル2 #3 - チャンネル3 チャンネル4は1~3が全てOFFの時に 選択されます。 #4 - FX ON/OFF #5 - Solo ON/OFF #6 - Mute ON/OFF #7 - Reverb ON/OFF *** *** N.C.切替に設定してください。	✓	x	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	x
Electra Dyne Royal Atlantic このオプションは既存のフットス イッチまたはスタンダードケーブ ルおよびSwitching Function#6 ~#8を使用します。	MESAプレ・コンフィギュレーション: #3 DIP スイッチ(ON): TRSジャック用はなし ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること TRS2ジャック用ケーブル: スタンダード ¼" TRS ケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #6 - Low #7 - Clean #8 - High	x	x	✓	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
Electra Dyne Royal Atlantic カスタム/サードパーティ製の DIN7ピン-¼"TRSケーブルは オプションとして記載してい ますが、これによりTRSジャ ックを2台のアンプや製品で使 用できるようになります。 この場合はSwitching Funct ion#1~#3を使用します。	MESAプレ・コンフィギュレーション: #1 DIP スイッチ(ON): S2 - 1 / 2 / 9 S3 - 1 / 2 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: カスタム/サードパーティ製DIN7 - ¼"TRS 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - High #2 - Low #3 - Clean	✓	x	x	✓	✓	✓	x	x	x	x	x

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
Express Series 5:25 Express Series 5:50	MESAプレ・コンフィギュレーション: なし DIP スイッチ(ON): S2 - 1 / 2 / 4 / 5 / 9 S3 - 1 / 2 / 4 / 5 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: 既存の5ピンDINフットスイッチケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - Contour 1 ON/OFF #2 - Contour 2 ON/OFF #4 - チャンネルセレクト #5 - Reverb ON/OFF	✓	X	X	✓	✓	X	✓	✓	X	X	X
Express+ Series 5:25+ Express+ Series 5:50+	MESAプレ・コンフィギュレーション: なし DIP スイッチ(ON): S2 - 2 / 4 / 6 / 7 / 9 S3 - 2 / 4 / 6 / 7 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: 既存の8ピンDINフットスイッチケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #2 - チャンネルセレクト #4 - EQ ON/OFF #6 - Solo ON/OFF #7 - Reverb ON/OFF	✓	X	X	X	✓	X	✓	X	✓	✓	X
F30 F50 F100 Rocket 44 Subway Reverb Rocket	MESAプレ・コンフィギュレーション: なし DIP スイッチ(ON): S2 - 2 / 4 / 5 / 10 S3 - 2 / 4 / 5 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: 既存の5ピンDINフットスイッチケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #2 - Contour ON/OFF #4 - チャンネルセレクト #5 - Reverb ON/OFF	✓	X	X	X	✓	X	✓	✓	X	X	X

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
Formula Pre	MESAプレ・コンフィギュレーション: #1 DIP スイッチ(ON): S2 - 5 / 10 S3 - 5 S4 - 1 / 2 / 3 / 4 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: 既存の5ピンDINフットスイッチケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - チャンネル1 #2 - チャンネル2 #3 - チャンネル3 #5 - EQ ON/OFF	✓	X	X	✓	✓	✓	X	✓	X	X	X
M-Pulse 360 M-Pulse Venture M-Pulse 600 Ver. 1 (s/n 1867 まで)	MESAプレ・コンフィギュレーション: なし DIP スイッチ(ON): S2 - 1 / 3 / 4 / 5 S3 - 1 / 3 / 4 / 5 / 9 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: 既存の5ピンDINフットスイッチケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - FX ON/OFF #3 - Solo ON/OFF #4 - EQ ON/OFF #5 - Comp ON/OFF	✓	X	X	✓	X	✓	✓	✓	X	X	X
M-Pulse 600 Ver. 2 (s/n 1868 以降)	MESAプレ・コンフィギュレーション: なし DIP スイッチ(ON): S2 - 1 / 3 / 4 / 5 / 7 S3 - 1 / 3 / 4 / 5 / 7 / 9 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: 既存の7ピンDINフットスイッチケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - FX ON/OFF #3 - Solo ON/OFF #4 - EQ ON/OFF #5 - Comp ON/OFF #7 - Mute ON/OFF	✓	X	X	✓	X	✓	✓	✓	X	✓	X

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
M6 Carbine このオプションでは、市販の¼" TRS - ¼" TS x2ケーブルを2本使用します。またミュート機能については制御できません。	MESAプレ・コンフィギュレーション: #6 DIP スイッチ(ON): TRSジャック用はなし ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること TRS1ジャック用ケーブル: 市販の¼" TRS - 2x¼" TSケーブル TRS2ジャック用ケーブル: 市販の¼" TRS - 2x¼" TSケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #5 - Voice 1 ON/OFF(TRS1 - Ring) #6 - Voice 2 ON/OFF(TRS2 - Ring) #7 - Voice 4 ON/OFF(TRS1 - Tip) #8 - Voice 5 ON/OFF(TRS2 - Tip) Voice 3/フラットは#5~#8が全てOFFの時に選択されます。	X	✓	✓	X	X	X	X	✓	✓	✓	✓
M6 Carbine このオプションでは、¼" TRS - ¼" TS x2ケーブルを2本およびカスタム/サードパーティ製 DIN 7ピン-¼" TRSケーブルを使用し、ミュートを含む5つ全ての機能を制御します。	MESAプレ・コンフィギュレーション: #6 DIP スイッチ(ON): S2 - 1 / 9 S3 - 1 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: カスタム/サードパーティ製DIN7 - ¼"TRS TRS1ジャック用ケーブル: 市販の¼" TRS - 2x¼" TSケーブル TRS2ジャック用ケーブル: 市販の¼" TRS - 2x¼" TSケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - Mute ON/OFF(DIN - Tip) #5 - Voice 1 ON/OFF(TRS1 - Ring) #6 - Voice 2 ON/OFF(TRS2 - Ring) #7 - Voice 4 ON/OFF(TRS1 - Tip) #8 - Voice 5 ON/OFF(TRS2 - Tip) Voice 3/フラットは#5~#8が全てOFFの時に選択されます。	✓	✓	✓	✓	X	X	X	✓	✓	✓	✓

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
Mark III カスタム/サードパーティ製 DIN7ピン-¼" TRSケーブル は、アンプにオプションのEQ /リバーブジャックがある場合 のみ必要です。 TRS1のスリーブを他のグラウン ドやプラグ、スリーブに絶対に接 触させないでください。高確率で 機器が損傷します！ (N3V)	MESAプレ・コンフィギュレーション: #6 DIP スイッチ(ON): S2 - 1 / 2 / 9 S3 - 1 / 2 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: カスタム/サードパーティ製DIN7 - ¼"TRS TRS1ジャック用ケーブル: スタンダード ¼" TS ケーブル TRS2ジャック用ケーブル: スタンダード ¼" TS ケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - EQ/Reverb ON/OFF(DIN - Tip) #2 - EQ/Reverb ON/OFF(DIN - Ring) #6 - Rhy1 #7 - Rhy2 #8 - Lead DINをEQ-REV、TRS1をRhythm 2、TRS2 をFoot-Switchに接続します。	✓	✓	✓	✓	✓	x	x	x	✓	✓	✓
Mark IV	MESAプレ・コンフィギュレーション: #7 DIP スイッチ(ON): S2 - 10 S3 - 5 / 6 S4 - 1 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: カスタムDIN 7ピン - XLR6ケーブル TRS1ジャック用ケーブル: スタンダード ¼" TS ケーブル TRS2ジャック用ケーブル: スタンダード ¼" TS ケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - R1 #2 - R2 #3 - LD #4 - LDEQ #5 - FX ON/OFF #6 - EQ ON/OFF #7 - Reverb ON/OFF(TRS1) *** #8 - Simul/Class-A セレクト (TRS2) *** N.C.切替に設定してください。	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
Mark V	MESAプレ・コンフィギュレーション: #1 DIP スイッチ(ON): S2 - 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 10 S3 - 4 / 5 / 6 / 7 / 8 S4 - 1 / 2 / 3 / 4 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: 既存の8ピンDINフットスイッチケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - チャンネル1 #2 - チャンネル2 #3 - チャンネル3 #4 - EQ ON/OFF #5 - Solo ON/OFF #6 - Mute ON/OFF #7 - Reverb ON/OFF *** #8 - FX Loop ON/OFF *** N.C.切替に設定してください。	✓	x	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Mark Five:35	MESAプレ・コンフィギュレーション: なし DIP スイッチ(ON): S2 - 2 / 3 / 4 / 9 S3 - 2 / 3 / 4 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: 既存の5ピンDINフットスイッチケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #2 - チャンネルセレクト #3 - Solo ON/OFF #4 - EQ ON/OFF	✓	x	x	x	✓	✓	✓	x	x	x	x

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
Nomad 45 Nomad 55	MESAプレ・コンフィギュレーション: #1 DIP スイッチ(ON): S2 - 4 / 5 / 10 S3 - 4 / 5 S4 - 1 / 2 / 3 / 4 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: 既存の5ピンDINフットスイッチケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - チャンネル1 #2 - チャンネル2 #3 - チャンネル3 #4 - Reverb ON/OFF *** #5 - Solo ON/OFF *** N.C.切替に設定してください。	✓	X	X	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X
Nomad 100	MESAプレ・コンフィギュレーション: #1 DIP スイッチ(ON): S2 - 4 / 5 / 6 / 10 S3 - 4 / 5 / 6 S4 - 1 / 2 / 3 / 4 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: 既存の7ピンDINフットスイッチケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - チャンネル1 #2 - チャンネル2 #3 - チャンネル3 #4 - Reverb ON/OFF *** #5 - Solo ON/OFF #6 - EQ ON/OFF *** N.C.切替に設定してください。	✓	X	X	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	X

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表									
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7
Quad Preamp (4-Pin Ft-Sw) 8つ全ての機能を制御するには、カスタム/サードパーティ製DIN8ピン - 8 x 1/4" ブレイクアウトボックス(BOB)と8ピンのDINケーブルが必要です。	MESAプレ・コンフィギュレーション: #4 DIP スイッチ(ON): S2 - 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 S3 - 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: カスタム/サードパーティ製DIN8ピン - 8 x 1/4" ブレイクアウトボックス(BOB)&ケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - R1 #2 - R2 #3 - LD1 #4 - LD2 #5 - EQ1 ON/OFF #6 - EQ2 ON/OFF #7 - Reverb Boost ON/OFF #8 - Reverb Cancel ON/OFF	✓	x	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Quad Preamp (6-Pin Ft-Sw)	MESAプレ・コンフィギュレーション: #7 DIP スイッチ(ON): S2 - 10 S3 - 5 / 6 S4 - 1 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること DINジャック用ケーブル: カスタムDIN 7ピン - XLR6ケーブル TRS1ジャック用ケーブル: スタンダード 1/4" TS ケーブル TRS2ジャック用ケーブル: スタンダード 1/4" TS ケーブル 使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - R1 #2 - R2 #3 - LD1 #4 - LD2 #5 - EQ2 ON/OFF #6 - EQ1 ON/OFF #7 - Reverb Boost ON/OFF(TRS1) #8 - Reverb Cancel ON/OFF(TRS2)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
RectoVerb 50 (Series 1) RectoVerb 50 (Series 2)	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: なし</p> <p>DIP スイッチ(ON): S2 - 2 / 4 / 5 / 10 S3 - 2 / 4 / 5 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>DINジャック用ケーブル: 既存の5ピンDINフットスイッチケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #2 - Solo ON/OFF #4 - チャンネルセレクト #5 - Reverb ON/OFF</p> <p>RectoVerb Series IとSeries IIの見分け方: Series Iは“Vintage/Modern”と記された2nd チャンネル用の2ポジションのモードスイッチ を装備しています。 Series IIは“Raw/Vintage/Modern”と記された 3ポジションのモードスイッチを装備してい ます。</p>	✓	x	x	x	✓	x	✓	✓	x	x	x
Rocket 440	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: なし</p> <p>DIP スイッチ(ON): S2 - 2 / 3 / 4 / 5 / 10 S3 - 2 / 3 / 4 / 5 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>DINジャック用ケーブル: 既存の5ピンDINフットスイッチケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #2 - Contour ON/OFF #3 - Tremolo ON/OFF #4 - チャンネルセレクト #5 - Reverb ON/OFF</p>	✓	x	x	x	✓	✓	✓	✓	x	x	x
Stereo Simul-Class 2:90 Series I & II	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: なし</p> <p>DIP スイッチ(ON): TRSジャック用にはなし ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>TRS1ジャック用ケーブル: スタンダード ¼” TS ケーブル</p> <p>TRS2ジャック用ケーブル: 市販の¼” TRS - 2x¼” TSケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #6 - Deep ON/OFF(TRS2 - Ring) #7 - ½ Drive ON/OFF(TRS1) #8 - Modern ON/OFF(TRS2 - Tip)</p>	x	✓	✓	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
Tremoverb	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: なし</p> <p>DIP スイッチ(ON): TRSジャック用にはなし ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>TRS1ジャック用ケーブル: 市販の1/4" TRS - 2x1/4" TSケーブル</p> <p>TRS2ジャック用ケーブル: 市販の1/4" TRS - 2x1/4" TSケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #5 - チャンネルセレクト (TRS1 - Ring) #6 - Tremolo ON/OFF (TRS2 - Ring) #7 - Reverb ON/OFF (TRS1 - Tip) #8 - FX Loop ON/OFF (TRS2 - Tip)</p>	X	✓	✓	X	X	X	X	✓	✓	✓	✓
V-Twin Rack Preamp	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: なし</p> <p>DIP スイッチ(ON): TRSジャック用にはなし ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>TRS1ジャック用ケーブル: スタンダード 1/4" TS ケーブル</p> <p>TRS2ジャック用ケーブル: スタンダード 1/4" TRS ケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #6 - Cln ON/OFF (TRS2 - Ring) #7 - FX Loop ON/OFF (TRS1) #8 - Solo ON/OFF (TRS2 - Tip) CleanとSoloがONになった時にミックスモードが自動的に選択されます。</p> <p>このオプションではスタンダードな1/4" TSとTRSケーブルを使用し、FXループのON/OFF、2つのチャンネルの切替、およびミックスモードの切替を行えます。</p> <p>FXループのON/OFFと6つのチャンネルボイスの切替には、DIN 8ピン- 8 x 1/4" ブレイクアウトボックス(BOB)と8ピンDINケーブルが必要です。下記をご参照ください。</p>	X	✓	✓	X	X	X	X	X	✓	✓	✓
V-Twin Rack Preamp	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: なし</p> <p>DIP スイッチ(ON): TRSジャック用にはなし ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>TRS1ジャック用ケーブル: 市販の1/4" TRS - 2x1/4" TSケーブル</p> <p>TRS2ジャック用ケーブル: 市販の1/4" TRS - 2x1/4" TSケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #5 - Ext. Ch. Sel. 1 of 6 (TRS1 - Ring) #6 - Ext. Ch. Sel. 2 of 6 (TRS2 - Ring) #7 - Ext. Ch. Sel. 3 of 6 (TRS1 - Tip) #8 - Ext. Ch. Sel. 4 of 6 (TRS2 - Tip) CleanとSoloがONになった時にミックスモードが自動的に選択されます。</p> <p>このオプションでは2本の1/4" TRS - 2x1/4" TSケーブルを使用し、6つのチャンネルボイスのうち4つとミックスモードの切替を行えます。</p> <p>FXループのON/OFFと6つのチャンネルボイスの切替には、DIN 8ピン- 8 x 1/4" ブレイクアウトボックス(BOB)と8ピンDINケーブルが必要です。下記をご参照ください。</p>	X	✓	✓	X	X	X	X	✓	✓	✓	✓

MESA/BOOGIE アンプ/製品	MESA プレ・コンフィギュレーション DIP スイッチの設定 必要なケーブル SWITCHING FUNCTIONのアサイン	ジャック及び切替機能 早見表										
		DIN	TRS1	TRS2	1	2	3	4	5	6	7	8
<p>V-Twin Rack Preamp</p> <p>このオプションでは2本の¼"TRSケーブル - ¼"TSx2ケーブルとカスタム/サードパーティ製DIN 7ピン - ¼"TRSケーブルを使用し、FXループのON/OFF、6つのチャンネルボイスイングのうち4つとミックスモードを切り替えられます。</p> <p>FXループのON/OFFと6つのチャンネルボイスイング全ての切替には、カスタム/サードパーティ製DIN 8ピン - 8x ¼"ブレイクアウトボックス(BOB)と8ピンDINケーブルが必要です。下記をご参照ください。</p>	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: なし</p> <p>DIP スイッチ(ON): S2 - 1 / 9 S3 - 1 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>DINジャック用ケーブル: カスタム/サードパーティ製DIN7 - ¼"TRS</p> <p>TRS1ジャック用ケーブル: 市販の¼" TRS - 2x¼" TSケーブル</p> <p>TRS2ジャック用ケーブル: 市販の¼" TRS - 2x¼" TSケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - FX Loop ON/OFF(DIN - Tip) #5 - Ext. Ch. Sel. 1 of 6(TRS1 - Ring) #6 - Ext. Ch. Sel. 2 of 6(TRS2 - Ring) #7 - Ext. Ch. Sel. 3 of 6(TRS1 - Tip) #8 - Ext. Ch. Sel. 4 of 6(TRS2 - Tip) CleanとSoloがONになった時にミックスモードが自動的に選択されます。</p>	✓	✓	✓	✓	x	x	x	✓	✓	✓	✓
<p>V-Twin Rack Preamp</p> <p>FXループのON/OFFと6つのチャンネルボイスイング全ての切替には、カスタム/サードパーティ製DIN 8ピン - 8x ¼"ブレイクアウトボックス(BOB)と8ピンDINケーブルが必要です。</p>	<p>MESAプレ・コンフィギュレーション: #8</p> <p>DIP スイッチ(ON): S2 - 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 9 S3 - 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 ※使用しないDIPスイッチはOFFにすること</p> <p>DINジャック用ケーブル: カスタム/サードパーティ製DIN8ピン - 8 x ¼"ブレイクアウトボックス(BOB)&ケーブル</p> <p>使用するSWITCHING FUNCTION: #1 - Solo 1 ON/OFF #2 - Solo 2 ON/OFF #3 - Solo 3 ON/OFF #4 - Clean 1 ON/OFF #5 - Clean 2 ON/OFF #6 - Clean 3 ON/OFF #7 - FX Loop ON/OFF CleanとSoloがONになった時にミックスモードが自動的に選択されます。 #1/#2/#3が全てOFFの時Solo側はミュートされます。 #4/#5/#6が全てOFFの時Clean側はミュートされます。</p>	✓	x	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	x

ケーブルのタイプと対応表

こちらは、MIDI Matrix™アンプコントローラーとMESA/Boogieアンプや製品に使用されるすべてのケーブルの概要をまとめたリストです。

MIDI MATRIX™ ケーブルタイプ	MESA/BOOGIE アンプ/製品	
MESA ¼" TS フットスイッチケーブル (MESA #678462)	2-Channel Dual Rectifier 2-Channel Triple Rectifier 50 Caliber 50 Caliber+ Bass 400 Bass 400+ Bass Buster 200 Blue Angel California Tweed 6V6 4:40 DC-3(A) DC-3(B) DC-5(A) DC-5(B) DC-10(B) Fillmore 25 Fillmore 50 Fillmore 100 Head-Track Heartbreaker King Snake M3 Carbine Mark I Mark II/A	Mark IIB Mark IIC+ Mark IV Maverick Mini Rectifier 25 Quad Preamp (6-Pin Ft-Sw) Rectifier Stereo 2:100 Rectoverb 25 Rosette 300/One:Ten Rosette 300/Two:Eight Simul 395 Stereo Stereo Simul-Class 2:90 Series I & II Strategy 500 Stereo Studio 22 Studio 22+ Studio Caliber DC-2(A) Studio Caliber DC-2(B) Studio Pre Subway D-800+ TransAtlantic TA15 TransAtlantic TA30 V-Twin Pedal V-Twin Rack Preamp
MESA ¼" TRS フットスイッチケーブル (MESA #678457)	Big Block 750 DC-3(A) DC-3(B) DC-5(A) DC-5(B) DC-10(B) Electra Dyne Lone Star (All Versions) M9 Carbine Mark IIB Mark IIC+ Mark Five:25 Rectifier Recording Preamp	Revolver Rosette 300/One:Ten Rosette 300/Two:Eight Royal Atlantic Solo/Single Rectifier 50 (Series I) Solo/Single Rectifier 50 (Series IIA) Stiletto (All Versions) Studio Caliber DC-2(B) Studio Pre Subway Rocket (Non-Rvrb) Subway TT-800 Subway WD-800 TransAtlantic TA30 V-Twin Rack Preamp

MIDI MATRIX™ ケーブルタイプ	MESA/BOOGIE アンプ/製品	
MESA 5ピンDINフットスイッチケーブル (MESA #678465)	Express Series 5:25 Express Series 5:50 F30 F50 F100 Formula Pre M-Pulse 360 M-Pulse 600 Ver. 1 (s/n 1867 まで) M-Pulse Venture	Mark Five:35 Nomad 45 Nomad 55 RectoVerb 50 (Series 1) RectoVerb 50 (Series 2) Rocket 44 Rocket 440 Subway Reverb Rocket Solo/Single Rectifier 50 (Series II)
MESA 7ピンDINフットスイッチケーブル (MESA #678470)	3-Channel Dual/Triple Rectifier (Non Multi-Watt) 3-Channel Dual/Triple Rectifier Multi-Watt Version	Big Block Titan V-12 M-Pulse 600 Ver. 2 (s/n 1868 以降) Nomad 100
MESA 8ピンDINフットスイッチケーブル (MESA #678468)	Bass Prodigy Four:88 Bass Strategy Eight:88 Dual Rectifier Road King I Dual Rectifier Road King IIA Dual Rectifier Road King IIB Dual Rectifier Roadster	Express+ Series 5:25+ Express+ Series 5:50+ Mark V Quad Preamp (4-Pin Ft-Sw)** V-Twin Rack Preamp** ** カスタム/サードパーティ製ブレイクアウトボックスが必要です。下記参照ください。
カスタムDIN 7ピン - XLR6ケーブル (MESA #CBL.XLR6)	Basis M-2000 Mark IV Quad Preamp (6-Pin Ft-Sw)	
¼" TRS - 2 x ¼" TSケーブル (市販品 *MESAケーブルはありません)	Amp Switcher M6 Carbine (ミュート機能も制御する場合は下記参照ください。) **** Mark IIB (アンプにEQとリバーブ用に¼"TSジャックが個別である場合に必要です。) Mark IIC+ (アンプにEQとリバーブ用に¼"TSジャックが個別である場合に必要です。) Stereo Simul-Class 2:90 Series I & II Studio Pre (アンプにEQとリバーブ用に¼"TSジャックが個別である場合に必要です。) Tremoverb V-Twin Rack Preamp	
カスタム/サードパーティ製 DIN7 - ¼" TRSケーブル	M6 Carbine (必要に応じてミュートのON/OFFを制御できます。) **** Mark III (アンプにEQとリバーブ用の¼" TRSジャックが1個のみある場合に必要です。) V-Twin Rack Preamp (6チャンネルボイシングのうち4つとFXを切り替えられます。)	
カスタム/サードパーティ製DIN8ピン - 8 x ¼" ブレイクアウトボックスと8ピンDINケーブル	Quad Preamp (4-Pin Ft-Sw) V-Twin Rack Preamp (6チャンネルボイシングとFXすべて切り替える場合に必要です。)	

MIDI オペレーション

出荷時のデフォルト設定

8つのSwitching Functionはすべて、ノーマリーオープン、ラッチタイプ、MESAプレ・コンフィギュレーション未設定、リンクされたグループAおよびBはどちらも空、プリセットはすべてブランク、MIDIチャンネル#1でMIDIプログラムチェンジ・メッセージは有効、という初期設定になっています。設定変更については、「コンフィギュレーション&セットアップモード」のセクションをご参照ください。

MIDIメッセージ

MIDI Matrix™アンプコントローラーはあらゆるMIDIフットコントローラーと互換性があり、出荷時はMIDIチャンネル#1のMIDIプログラムチェンジ・メッセージへ応答する設定となっています。設定変更により代わりにMIDIコントロールチェンジ・メッセージへ応答させることも可能ですが、誤動作を防ぐために両方同時に応答することはできません。MIDIチャンネルは、MIDIチャンネルスイッチで16チャンネルのいずれかに切り替えることが可能です。MIDIプログラムチェンジ・メッセージやコントロールチェンジ・メッセージを受信した際、STOREボタンのLEDがすばやく1回点滅し、(有効、無効に関わらず)MIDIメッセージを受信したことを示します。

NOTE: MIDIフットコントローラーのボタンを押してSTOREボタンのLEDが点滅したのに、8つのSwitching FunctionボタンのON/OFF状態がいずれも変わらなかったり、STOREボタンを押してもプリセットが保存されなかったりする場合は、有効なMIDIメッセージを受信していない可能性があります。その際はMIDIフットコントローラーとMIDI Matrix™アンプコントローラーが同じタイプのMIDIメッセージ同じMIDIチャンネルで送受信するように設定されていることを確認してください。

MIDIプログラムチェンジ&プリセット

バンク1のMIDIプログラムチェンジ・メッセージ1~128、バンク2のMIDIプログラムチェンジ・メッセージ1~122を使用して、最大250種類のプリセットやパッチを保存・ロードできます。MIDIチャンネルスイッチと同じMIDIチャンネルでMIDIプログラムチェンジメッセージを受信すると、受信したMIDIプログラムチェンジ・メッセージに保存された8つのSwitching FunctionのON/OFF設定が呼び出されます。

MIDIプリセットの選択、エディット、保存は以下の3ステップの操作で行うことができます。

1. MIDIフットコントローラーを使用してMIDIプログラムチェンジ・メッセージを選択します。するとSTOREボタンのLEDが素早く点滅します。
2. 8つのSwitching Functionボタンを使用して、使用するアンプや製品のチャンネルや機能を選択します。
3. STOREボタンを押します。するとSTOREボタンのLEDがゆっくりと点滅し、現在の8つのSwitching FunctionのON/OFFの状態がMIDIプリセットに保存されたことを示します。

以下の状態ではプリセットは保存されません。

- ・MIDI Matrix™コントローラーを初めて起動して、有効なMIDIプログラムチェンジ・メッセージをまだ受信していない場合。
- ・(成功、失敗に関わらず)MIDI Matrix™アンプコントローラーがユーザーデータロード・ファイルを受信したが、その後にMIDIプログラムチェンジ・メッセージをまだ受信していない場合。

NOTE: MIDIフットコントローラーのボタンを押してSTOREボタンのLEDが点滅したのに、8つのSwitching FunctionボタンのON/OFF状態がいずれも変わらなかったり、STOREボタンを押してもプリセットが保存されなかったりする場合は、有効なMIDIメッセージを受信していない可能性があります。その際はMIDIフットコントローラーとMIDI Matrix™アンプコントローラーが同じタイプのMIDIメッセージ同じMIDIチャンネルで送受信するように設定されていることを確認してください。

バンクの選択

上記の通り、2つのバンクに計250のプリセットを保存できます。

バンク1は起動時にデフォルト設定されており、MIDIプログラムチェンジ・メッセージはこのバンクに保存されたプリセットを呼び出します。バンク2はMIDIバンクセレクト・メッセージ(MIDIコントロールチェンジ・メッセージCC#0)で選択可能です。

MIDIフットコントローラーでMIDIコントロールチェンジ・メッセージCC#0/バリュー0を送信すると、バンク1が選択されます。

MIDIフットコントローラーでMIDIコントロールチェンジ・メッセージCC#0/バリュー1を送信すると、バンク2が選択されます。

NOTE: バンクの選択は半永久的に維持されます。これはバンク選択後に受信する全てのMIDIプログラムチェンジ・メッセージが選択したバンク内のプリセットを呼び出すことを意味します。具体的には、バンク2を選択した後に受信したMIDIプログラムチェンジ・メッセージはバンク2内のプリセット129～250を呼び出します。またバンク1を選択した後に受信したMIDIプログラムチェンジ・メッセージはバンク1内のプリセット1～128を呼び出します。

MIDIコントロールチェンジ&ダイレクトアクセス

MIDIプログラムチェンジ・メッセージに加えて、MIDI Matrix™アンプコントローラーはMIDIコントロールチェンジ・メッセージ(MIDIコンティニューアス・コントローラー、CCメッセージ)にも対応しています。

MIDIコントロールチェンジ・メッセージを送信できるMIDIフットコントローラーを使用する場合は、MIDIフットコントローラーの各ボタンをMIDI Matrix™アンプコントローラーの各Switching Functionにダイレクトにアサインすることもできます。8つのSwitching FunctionのON/OFF状態の組み合わせたプリセットをメモリに保存するのは、実際にはMIDIコントローラー側になります。

MIDI Matrix™アンプコントローラーは、6段階のレンジに分けてMIDIコントロールチェンジ・メッセージを受信します。レンジ1と2はロジカルに選択され、3～6はGCX1～6にそれぞれ対応します。いずれかのレンジを選択しMIDI Matrix™アンプコントローラーのMIDIチャンネルを16に設定すると、MIDI Matrix™アンプコントローラーはVoodoo Lab/Digital Music Corporation GCXオーディオスイッチャーと同じMIDIメッセージに対応します(GCXはDigital Music Corporationの商標です)。

MIDI CONTROL CHANGE MESSAGE						MIDI CONTROL VALUE	SWITCHING FUNCTION & ON/OFF STATUS
RANGE #1 [MESA#1]	RANGE #2 [MESA#2]	RANGE #3 [GCX#1]	RANGE #4 [GCX#2]	RANGE #5 [GCX#3]	RANGE #6 [GCX#4]		
#21	#111	#80	#88	#64	#56	64 - 127 0 - 63	Switching Function #1 on Switching Function #1 off
#22	#112	#81	#89	#65	#57	64 - 127 0 - 63	Switching Function #2 on Switching Function #2 off
#23	#113	#82	#90	#66	#58	64 - 127 0 - 63	Switching Function #3 on Switching Function #3 off
#24	#114	#83	#91	#67	#59	64 - 127 0 - 63	Switching Function #4 on Switching Function #4 off
#25	#115	#84	#92	#68	#60	64 - 127 0 - 63	Switching Function #5 on Switching Function #5 off
#26	#116	#85	#93	#69	#61	64 - 127 0 - 63	Switching Function #6 on Switching Function #6 off
#27	#117	#86	#94	#70	#62	64 - 127 0 - 63	Switching Function #7 on Switching Function #7 off
#28	#118	#87	#95	#71	#63	64 - 127 0 - 63	Switching Function #8 on Switching Function #8 off

ユーザーデータダンプ(バックアップ)

ユーザーデータダンプは、MIDI Matrix™アンプコントローラーの250のプリセットとコンフィグレーションの設定を、MIDI THRU/OUTジャックを介してMIDI SysExメッセージとして出力する機能です。ユーザーデータダンプ・ファイルにはMIDIエラー検出のためのCRCバイトを含みます。

片方のMIDI Matrix™アンプコントローラーからもう1台のMIDI Matrix™アンプコントローラーへユーザーデータダンプを行って全く同じデータをもつクローンを用意する場合、オリジナル側のMIDI THRU/OUTジャックをクローン側のMIDI INジャックに接続します。(各MIDIチャンネルを同じMIDIメッセージに反応させたくない場合を除いて)クローン側のMIDIチャンネルがオリジナル側のMIDI Matrix™アンプコントローラーと同じになるように設定してください。

ユーザーデータダンプ・ファイルは、バックアップを取ったり、別のMIDI Matrix™アンプコントローラーへデータをロードするために、PCへ保存することもできます。PCに加えて、MIDI/USBインターフェースおよびMIDI SysExメッセージとファイルを送受信できるMIDIアプリ/ユーティリティが必要となります。推奨する無料アプリはwww.snoize.comのSysEx Librarian(Mac OS X向け)、およびwww.midiox.comのMIDI-OX(Microsoft Windows向け)です。

ユーザーデータダンプは下記操作の後に実行可能となります。

- ・MIDI Matrix™アンプコントローラーを起動した後、何もMIDIメッセージを受信していない時
- ・MIDI Matrix™アンプコントローラーが(成功、失敗にかかわらず)ユーザーデータロード・ファイルを受信した時

ユーザーデータダンプは、4つの簡単なステップで実行できます。

1. MIDI Matrix™アンプコントローラーのMIDI THRU/OUTジャックから、別のMIDI Matrix™アンプコントローラーのMIDI INジャックまたはMIDI/USBインターフェースのMIDI INジャックへ接続します。後者の場合は使用するMIDIアプリ/ユーティリティを起動し、インターフェースがPCへ接続されていることをご確認ください。
2. PCへダンプする場合は、MIDIアプリ/ユーティリティを受信可能状態に設定し、MIDI Matrix™アンプコントローラーのSTOREボタンを押してユーザーデータダンプ・ファイルの送信を開始します。
3. MIDI Matrix™アンプコントローラーのSTORE LEDがただちに点灯し、ユーザーデータダンプ・ファイルの送信が完了するとLEDが消灯します。
4. MIDI Matrix™アンプコントローラーのソフトウェア・バージョン情報を含む非常に短い2度目のMIDI SysExメッセージが送信されるとSTORE LEDが再度点灯します。

ユーザーデータダンプは1～2秒前後で完了します。

NOTE: ユーザーデータダンプ・ファイルの後に続くソフトウェア・バージョンのSysExメッセージは、単純な個体識別のためにだけ使用されますが、特定の問題のトラブルシューティングを必要としない限りは無視することも出来ます。

ユーザーデータロード(リストア)

ユーザーデータのロードはいつでも実行でき、最大のMIDI速度で受信できます。ユーザーデータダンプ・ファイルを受信するとまずMIDI Matrix™アンプコントローラーのRAMメモリに保存され、ユーザーデータEEPROMメモリに保存された既存のプリセットとコンフィグレーション設定に即座に上書きされることはありません。CRCエラーが発生せず正常に全てのユーザーデータダンプ・ファイルが受信された時にのみ、既存のプリセットとコンフィグレーション設定が上書きされます。

ユーザーデータロードは4つの簡単なステップで実行されます。

1. MIDI Matrix™アンプコントローラーのMIDI INジャックから、別のMIDI Matrix™アンプコントローラーのMIDI THRU/OUTジャックまたはMIDI/USBインターフェースのMIDI THRU/OUTジャックへ接続します。後者の場合は使用するMIDIアプリ/ユーティリティを起動し、インターフェースがコンピュータへ接続されていることをご確認ください。

2. コンピュータからロードする場合は、ユーザーデータダンプ・ファイルを選択して送信を開始するか、ユーザーデータダンプ・ファイルの送信元のMIDI Matrix™アンプコントローラーのSTOREボタンを押します。
3. MIDI Matrix™アンプコントローラーのSTORE LEDがすぐに点灯し、ユーザーデータダンプ・ファイルを受信を開始したことを示します。ユーザーデータEEPROMメモリへの保存が完了した際、STORE LEDは消灯します。
4. MIDI Matrix™アンプコントローラーが再起動すると、STORE LEDが再度点灯します。これは、ユーザーデータダンプ・ファイルにコンフィギュレーション設定とセットアップ情報が含まれているため必要な動作となります。

ユーザーデータロードは1～2秒前後で完了します。

ユーザーデータロードが失敗した場合、STORE LEDは点灯したままになります。これは、MIDI Matrix™アンプコントローラーが他のユーザーデータダンプ・ファイルを受信するか、またはSTORE LEDのON/OFFを切り替える操作(ユーザーデータロードの正常な受信、STOREボタンの操作、またはMIDIチャンネルの切替など)をするまで継続します。ファイルが破損している場合は受信失敗となりますが、MIDI Matrix™アンプコントローラー内蔵のCRC/MIDIエラー検出機能により、破損したファイルが既存のプリセットや設定に上書きされてしまうことはありません。

手順3の後にSTORE LEDが素早く点滅し始めた場合は、少なくとも1つのユーザーデータEEPROMメモリの場所の整合性が損なわれていることを示します。ユーザーデータロードは引き続き実行され、完了されますが、使用するにはMIDI Matrix™アンプコントローラーの電源を一度切り再起動する必要があります。

ソフトウェアバージョンSYSEXメッセージ

ユーザーデータダンプ・ファイルを送信した後に非常に短いMIDI SysExメッセージが送信されますが、これはMIDI Matrix™アンプコントローラーのソフトウェア・バージョンを確認するためのものです。ユーザーデータロードを受信するときは、このメッセージは無視されます。このデータを閲覧するためには、PCとMIDI/USBインターフェース、およびMIDI SysExメッセージをファイルを送受信できるMIDIアプリ/ユーティリティが必要となります。推奨する無料アプリはwww.snoize.comのSysEx Librarian(Mac OS X向け)、およびwww.midiox.comのMIDI-OX(Microsoft Windows向け)の2つです。PCでこのメッセージをキャプチャーして表示するには、ユーザーデータダンプを実行する前に、使用中のMIDIアプリ/ユーティリティ内のオプション“Record Many”または“Receive Many”を選択してください。

ソフトウェア・バージョンSysExメッセージは次のようになります: F0 00 02 20 07 68 x y F7

xとyは実際のソフトウェア・バージョンです。例えば3.1は「03 01」と表記されます。

コンフィギュレーション&セットアップ・モード

コンフィギュレーション&セットアップ・モードへ移行するには、STOREボタンと8つのSwitching Functionボタンのいずれかを押しながら電源を入れます。サブモードは以下の通りです。STORE LEDとSwitching FunctionボタンのLEDが点灯します。コンフィギュレーション&セットアップ・モード中STORE LEDは点灯し続けますが、Switching FunctionのLEDはボタンから手を離すと消灯します。約0.5秒後に、Switching FunctionボタンのLEDが変更するために選択したサブモードの保存されている設定を表示します。

- ボタン1 — Mesaプレ・コンフィギュレーション
- ボタン2 — ラッチ/モーメンタリースイッチング
- ボタン3 — ノーマリーオープン/クローズドスイッチング
- ボタン4 — リンクされたグループAの機能
- ボタン5 — リンクされたグループBの機能
- ボタン6 — グループにリンクされたボタンを全てOFF & MIDIセッティング
- ボタン7 — ファクトリーリストア
- ボタン8 — ソフトウェア・アップデート

MESAプレ・コンフィギュレーション(STORE+ボタン1)

MESAプレ・コンフィギュレーションは、単独でのSwitching FunctionのON/OFFではなく、リンクされたSwitching Functionを必要とするMESA/Boogieアンプや製品と組み合わせて使用する際に、MIDI Matrix™アンプコントローラーの回路とプログラミングを素早くセットアップするためのものです。MESAプレ・コンフィギュレーションはリンクされたグループAおよびリンクされたグループBからは独立しています。

下記のアンプ/製品のリストに従ってSwitching Functionボタンを押して、8つのMESAプレ・コンフィギュレーションからいずれか1つ、もしくは8つのLEDが全てOFF(何も選択しない)の状態を選択します。選択後にSTOREボタンを押して設定を保存すると、MIDI Matrix™アンプコントローラーは自動的に再起動します。

MIDI Matrix™アンプコントローラーで制御したいアンプや製品に関する詳細かつ重要な情報については「DIPスイッチ」および「MESA/BOOGIEアンプと製品のコントロール」のセクションをご参照ください。

ボタン1 — 3ch Dual/Triple Rectifier(Non Multi-Watt)、3ch Multi-Watt Dual/Triple Rectifier、Electra Dyne、Formula Pre、Mark V、Nomad 45/55/100、Royal Atlantic

ボタン2 — Dual Rectifier Road King(Series I)、Dual Rectifier Road King IIA(s/n 2148-2647)、Dual Rectifier Road King IIB(s/n 2648以降)、Dual Rectifier Roadster

ボタン3 — Electra Dyne、Mark III、Royal Atlantic

ボタン4 — Quad Preamp(4ピンフットスイッチ)

ボタン5 — Reserved(#1 - #4 Linked, 1-on/auto-off/all-off)

ボタン6 — Amp Switcher、M6 Carbine

ボタン7 — Basis M-2000、Mark IV、Quad Preamp(6ピンフットスイッチ)

ボタン8 — V-Twin Rack Preamp

その他のMESA/Boogieアンプ/製品はMESAプレ・コンフィギュレーションを使わずに(全てのLEDがOFFの状態)使用できます。

NOTE: MESAプレ・コンフィギュレーションを選択することで、MESAプレ・コンフィギュレーションによってリンクされたSwitching FunctionはリンクされたグループAおよびBから削除され、ラッチ/モーメンタリーやノーマリーオープン/クローズスイッチの設定を変更できなくなります。

ラッチ/モーメンタリースイッチング(STORE+ボタン2)

一部のアンプおよび製品は、より一般的なラッチスイッチングではなくモーメンタリースイッチングを必要とする機能を備えている場合があります。ラッチスイッチングに設定されたSwitching Functionは、ON/OFFされた時オープン/クローズの2つのうちどちらか1つの状態に留まります。モーメンタリースイッチングに設定されたSwitching Functionは、短時間だけスイッチの接点をオープン/クローズしたら元のクローズ/オープンの状態に戻ることでON/OFFの状態を切り替えます。MIDI Matrix™アンプコントローラーのモーメンタリースイッチングタイムは50ミリsec(秒)です。

モーメンタリーに切り替えたいSwitching Functionボタンを押して対応するLEDをONにし、ラッチで使いたいボタンはLEDをOFFのままにします。選択したらSTOREボタンを押すと設定が保存され、MIDI Matrix™アンプコントローラーは自動的に再起動します。

NOTE: 選択中のMESAプレ・コンフィギュレーションによってリンクされているSwitching Functionのラッチ/モーメンタリースイッチングの設定を変更することはできません。

ノーマリーオープン/クローズ スイッチング(STORE+ボタン3)

一部のアンプおよび製品は、ノーマリークローズ(N.C.)または極性を反転したSwitching Functionを要する機能を備えていることがあります。例えば、ノーマリーオープン(N.O.)でアンプのリバープのON/OFFを切り替えると、リバープがOFFの時にMIDI Matrix™アンプコン

トローラーのSwitching FunctionのLEDがONになったり、リバーブがONの時にLEDがOFFになってしまうことがあります。Switching Functionをノーマリークローズに変更するか、極性を逆にすることでこのようなスイッチングの同期に関する問題を解消できます。

ノーマリークローズに切り替えたいSwitching Functionボタンを押して対応するLEDをONにし、ノーマリーオープンで使用したいボタンはLEDをOFFのままにします。選択したらSTOREボタンを押すと設定が保存され、MIDI Matrix™アンプコントローラーは自動的に再起動します。

NOTE: 選択中のMESAプレ・コンフィギュレーションによってリンクされているSwitching Functionのノーマリーオープン/クローズの設定を変更することはできません。

リンクされたグループAの機能(STORE+ボタン4)

リンクされたグループBの機能(STORE+ボタン5)

多くのアンプや製品はチャンネル切替に複数のSwitching Functionを使用し、また一度にひとつのSwitching FunctionのみがONになっている必要があり、一度に複数チャンネルがアクティブになっていると混乱が生じてしまうことがあります。リンクされたグループAおよびBは、最大8つまでのSwitching Functionを1つのグループにリンクさせることができ、各グループ内で一度に1つだけのSwitching FunctionがONになるように設定できます。つまり、Switching FunctionがOFFの時にボタンを押すとONになり、それまでONだったボタンは自動的にOFFに切り替わります。これらのアンプや製品の中には、リンクされたSwitching FunctionがすべてOFFの時に選択されるチャンネルまたは機能を備えているものもあります。これは、次の「コンフィギュレーション&セットアップ・モードの選択(STORE+ボタン6)」のセクションで設定することができます。これによりリンクされたグループAおよびBは、ボタンを押した時に現在ONになっているSwitching FunctionをOFFにすることができます。MESAプレ・コンフィギュレーションはリンクされたグループAおよびBからは独立しているため、MIDI Matrix™アンプコントローラーは実際にはSwitching Functionを最大3つまでの異なるグループにリンクさせることができます。

リンクされたグループAまたはBの一部に設定したいSwitching Functionボタンを押して対応するLEDをONにし、またグループに含めたくないボタンのLEDがOFFになっていることを確認してください。選択後STOREボタンを押して設定を保存すると、MIDI Matrix™アンプコントローラーは自動的に再起動します。

NOTE: リンクされたグループAまたはBにSwitching Functionを追加することで、そのSwitching Functionはほかのリンクされたグループからは自動的に除外されます。もし同じSwitching Functionを使うMESAプレ・コンフィギュレーションが選択された場合、MESAプレ・コンフィギュレーションは自動的に選択から除外されます。また、もしリンクされたグループAまたはBに1つのSwitching Functionしかアサインされていない場合、そのグループは自動的に削除されます。

リンクOFF&MIDI設定(STORE+ボタン6)

前述のとおり、リンクされたグループAまたはBの機能を使用する一部のアンプや製品は、そのグループ内のSwitching FunctionがすべてOFFの時に選択されるチャンネルまたは機能をもっている場合があります。Switching Functionボタン#1と#2を切り替えるとリンクされたグループAおよびBがそれぞれ構成され、いずれかのLEDがONの時にその機能が使用できるようになります。例えば、もしリンクされたグループAにSwitching Function#1～#4がアサインされていてそのうちのSwitching Function#4がONになっている場合、そのボタンを押すとOFFになり、グループ内の4つすべてのSwitching FunctionがOFFになり5つ目のチャンネルや他の機能を選択した状態になります。このコンフィギュレーション&セットアップ・モードのSwitching Functionボタン#1および#2は工場出荷時はLEDがOFFの設定のため、リンクされたグループAおよびBの両方とも、常に1つのSwitching FunctionがONの状態になり同じボタンを押してもOFFにはなりません。

ボタン#1 — リンクされたグループAをすべてOFF(LED ON)

ボタン#2 — リンクされたグループBをすべてOFF(LED ON)

Switching Functionボタン#3～#8は、MIDI Matrix™アンプコントローラーが応答するMIDIメッセージのタイプを設定します。Switching Functionボタンを押して、MIDI Matrix™アンプコントローラーが応答するMIDIコントロールチェンジ・メッセージの6つのレンジのうちの一つを選択します。6つのLEDすべてがOFFの場合は、MIDIプログラムチェンジ・メッセージが選択されます。MIDI Matrix™アンプコントローラーはMIDIプログラムチェンジまたはMIDIコントロールチェンジ・メッセージのいずれかに応答しますが、両方同時に応答することはできません。これは誤動作や予期せぬ動作を回避するためです。選択後STOREボタンを押すと設定が保存され、MIDI Matrix™アンプコントローラーは自動的に再起動します。

- ボタン#3 — MIDIコントロールチェンジ#21～#28(レンジ#1)
- ボタン#4 — MIDIコントロールチェンジ#111～#118(レンジ#2)
- ボタン#5 — MIDIコントロールチェンジ#80～#87(レンジ#3)
- ボタン#6 — MIDIコントロールチェンジ#88～#95(レンジ#4)
- ボタン#7 — MIDIコントロールチェンジ#64～#71(レンジ#5)
- ボタン#8 — MIDIコントロールチェンジ#56～#63(レンジ#6)

NOTE: MIDIコントロールチェンジのレンジ#3～#6はそれぞれGCX#1～#4に対応しています。これらのうち1つのレンジを選択してMIDIチャンネルを#16に設定することで、MIDI Matrix™アンプコントローラーをVoodoo Lab/Digital Music CorporationのGCX Audio Switcherと同じMIDIメッセージに応答させることができます(GCXはDigital Music Corp.の商標です)。

ファクトリーリストア(STORE+ボタン7)

ファクトリーリストアを実行すると、すべてのMIDIプリセットと「コンフィギュレーション&セットアップ・モード」の設定が、工場出荷時と同じ状態に戻ります。出荷時のデフォルトは次のとおりです：8つのSwitching Functionはすべてノーマリーオープンおよびラッチスイッチング、MESAプレ・コンフィギュレーション未設定、リンクされたグループAおよびBは両方が空、すべてのプリセットはブランク、選択されたMIDIチャンネルのMIDIプログラムチェンジ・メッセージは有効。

5つの簡単なステップでファクトリーリストアを実行します：

1. STOREボタンとSwitching Function#7ボタンを押しながらMIDI Matrix™アンプコントローラーの電源を入れます。
2. STOREおよびSwitching Function#7のLEDが点灯したら、Switching Function#7のボタンのみを離すとLEDが消灯します。
3. STOREボタンは押したまま、Switching Function#1ボタンを長押しするとLEDが点灯します。
4. STOREボタンのみを離すとSwitching Function#1のLEDがOFFになり、ファクトリーリストアを開始したらSwitching Function#1ボタンを離します。
5. ファクトリーリストアが完了したら、MIDI Matrix™アンプコントローラーは自動的に再起動されます。

ファクトリーリストアは完了までに1～2秒を要します。

ステップ#4の後にSTORE LEDが素早く点滅し始めた場合は、1つ以上のユーザーデータEEPROMメモリの場所の整合性が低下していることを示します。その後もファクトリーリストアは継続して実行・完了されますが、使用するにはMIDI Matrix™アンプコントローラーの電源OFFにして再起動する必要があります。

NOTE: もしSwitching Function#7ボタンよりも前にSTOREボタンを離したり(ステップ#2)、STOREボタンを離した時にSwitching Function#1を押していなかった場合(ステップ#4)は、ファクトリーリストアはキャンセルされ、MIDI Matrix™アンプコントローラーは通常どおりに起動します。

ソフトウェアアップデート(STORE+ボタン8)

ソフトウェアアップデートを実行するには、ソフトウェアアップデート・ファイル、PC、MIDI/USBインターフェース、およびMIDI SysExメッセージとファイルを送受信可能なMIDIアプリ/ユーティリティが必要です。推奨する無料アプリはwww.snoize.comのSysEx Librarian(Mac OS X向け)、およびwww.midiox.comのMIDI-OX(Microsoft Windows向け)です。

!! IMPORTANT !! ソフトウェアアップデートを行う際のMIDIアプリ/ユーティリティの設定は以下のとおりです。

SysEx Librarian (Mac OS X)
Menu > Preferences
Transmit Speed = 50% or 1565 bytes/sec max.

MIDI-OX (Microsoft Windows)
Main Menu > View > SysEx
SysEx Window Menu > SysEx > Configure
Low Level Output Buffers, Size = 256 & Num = 64
Output Timing & Delay Between Buffers = 192ms min.
Auto-Adjust Buffer Delays If Necessary = Off/Unchecked

他の機材と同様に、ソフトウェアアップデートを実行する前にプリセット等の設定をバックアップしておくことを推奨します。

下記の手順でソフトウェアアップデートを実行します：

1. STOREボタンとSwitching Functionボタン#8を同時に長押ししながらMIDI Matrix™アンブコントローラーに電源を接続します。
2. STOREおよびSwitching Functionボタン#8のLEDが点灯したら両方のボタンを離してください。Switching Functionボタン#8のLEDは消灯しますが、STORE LEDは点灯したままになり、ソフトウェア・アップデート・モードに入ったことを示します。
3. MIDI/USBインターフェースをPCに接続し使用したいMIDIアプリ/ユーティリティを起動したら、インターフェースのMIDIアウトプットをMIDI Matrix™アンブコントローラーのMIDI INジャックに接続します。
4. ステップ#5に進む前に、ソフトウェアアップデート・ファイルのチェックサムが正しいことを以下の手順で確認します。

SysEx Librarianは、ファイルのチェックサムを計算する2種類の方法を備えています。これらのうち1つまたは両方をチェックして、公開されているチェックサムに対してファイルが破損していないことを確認してください。

残念ながらMIDI-OXはチェックサム機能を内蔵していませんが、Microsoftは“Microsoft File Checksum Integrity Verifier”という無料のユーティリティを公開しており、これが同等の機能を果たします。www.microsoft.comからダウンロードすることができます。

5. ソフトウェアアップデート・ファイルの送信を開始します。受信するとSTORE LEDが素早く点滅し始めます。ファイルの受信中も点滅し続け、ソフトウェアアップデートが問題なく進行していることを示します。
6. ソフトウェアアップデートが正常に完了すると、STORE LEDは消灯してMIDI Matrix™アンブコントローラーが自動的に再起動すると再度点灯します。

ソフトウェアアップデートは20～30秒以内で完了します。

ソフトウェアアップデートが失敗した場合、STORE LEDの点滅が停止し、MIDI Matrix™アンブコントローラーがもう一度ソフトウェアアップデート・ファイルを受信し始めるまで点灯したままの状態になります。障害は、ファイルの破損またはMIDI Matrix™アンブコントローラーの処理速度を超えるスピードで送信された際に発生する可能性があります。ソフトウェアアップデートに失敗した場合は、ファイル転送を停止し、MIDIアプリ/ユーティリティ側のトランスミッション/スピードの設定を変更してください。

・設定が上記とは異なっている場合、修正した上でSwitching Functionボタン#1を押して(これによりMIDI Matrix™アンブコントローラーのソフトウェアアップデートのプロセスがリセットされます)もう一度ソフトウェアアップデート・ファイルを送信します。

・設定が正しい場合、ソフトウェアアップデートの失敗はファイルの破損によるエラーの可能性があり、ソフトウェアアップデートファイルの送信を再度実行してください。STORE LEDの点滅が開始しない場合は、Switching Functionボタン#1を押してソフトウェアアップデートのプロセスをリセットし、その後ソフトウェアアップデートファイルの再送をお試しください。

NOTE: ソフトウェアアップデートファイルの送信(ステップ#5)の前にアップデートを中止したい場合は、電源を抜いてください。再起動すると、MIDI Matrix™アンブコントローラーは通常モードでのオペレーションに戻ります。MIDI Matrix™アンブコントローラーがソフトウェアアップデートファイルの受信を開始した後にソフトウェアアップデートを中止したり、上記のステップ#6のようにソフトウェアが正常にアップデートされていないMIDI Matrix™アンブコントローラーを使用したりしないでください。

SPECIFICATIONS

- ・ 駆動電圧: 9V ACまたはDC
- ・ 最小DC駆動電圧: 9V DC
- ・ 最大DC駆動電圧: 12V DC
- ・ 最大消費電力: 250mA @ 9V DC
- ・ DCアダプター(別売): 2.1 x 5.5mmバレルプラグ
- ・ 重量: 408.2g
- ・ 本体サイズ(W x D x H): 132.8 x 95.8 x 40.4mm
- ・ ボトムマウンティングプレート(W x D x H): 126.2 x 93.7 x 1.6mm
- ・ モーメントリー切替時間: 50ms
- ・ ユーザーデータメモリサイズ: 2バンク/計250プリセット
- ・ ユーザーデータメモリタイプ: 不揮発性EEPROMメモリ(バッテリーなし)
- ・ フットコントローラー用ファンタム電源: MIDI INジャックの6および7ピンから、POWERジャックと同じ電圧で供給

NOTE: 当機の仕様は予告なく変更される可能性があります。

MIDI Implementation Chart v2.0 (Page 2 of 3)

Manufacturer: MESA Engineering

Model: MIDI MATRIX Amp Controller

Version: 1.x

Date: Apr. 16, 2019

Control #	Function	Transmitted (Y/N)	Recognized (Y/N)	Remarks
0	Bank Select (MSB)	No	Yes	Ctrl Valu 0 = Bank 1, Ctrl Valu ≥ 1 = Bank2
1	Modulation Wheel (MSB)	No	No	
2	Breath Controller (MSB)	No	No	
3		No	No	
4	Foot Controller (MSB)	No	No	
5	Portamento Time (MSB)	No	No	
6	Data Entry (MSB)	No	No	
7	Channel Volume (MSB)	No	No	
8	Balance (MSB)	No	No	
9		No	No	
10	Pan (MSB)	No	No	
11	Expression (MSB)	No	No	
12	Effect Control 1 (MSB)	No	No	
13	Effect Control 2 (MSB)	No	No	
14		No	No	
15		No	No	
16	General Purpose Controller 1 (MSB)	No	No	
17	General Purpose Controller 2 (MSB)	No	No	
18	General Purpose Controller 3 (MSB)	No	No	
19	General Purpose Controller 4 (MSB)	No	No	
20		No	No	
21		No	Yes	Switching Function #1 (CC Range #1)
22		No	Yes	Switching Function #2 (CC Range #1)
23		No	Yes	Switching Function #3 (CC Range #1)
24		No	Yes	Switching Function #4 (CC Range #1)
25		No	Yes	Switching Function #5 (CC Range #1)
26		No	Yes	Switching Function #6 (CC Range #1)
27		No	Yes	Switching Function #7 (CC Range #1)
28		No	Yes	Switching Function #8 (CC Range #1)
29		No	No	
30		No	No	
31		No	No	
32	Bank Select (LSB)	No	No	Use CC#0 instead!
33	Modulation Wheel (LSB)	No	No	
34	Breath Controller (LSB)	No	No	
35		No	No	
36	Foot Controller (LSB)	No	No	
37	Portamento Time (LSB)	No	No	
38	Data Entry (LSB)	No	No	
39	Channel Volume (LSB)	No	No	
40	Balance (LSB)	No	No	
41		No	No	
42	Pan (LSB)	No	No	
43	Expression (LSB)	No	No	
44	Effect Control 1 (LSB)	No	No	
45	Effect Control 2 (LSB)	No	No	
46		No	No	
47		No	No	
48	General Purpose Controller 1 (LSB)	No	No	
49	General Purpose Controller 2 (LSB)	No	No	
50	General Purpose Controller 3 (LSB)	No	No	
51	General Purpose Controller 4 (LSB)	No	No	
52		No	No	
53		No	No	
54		No	No	
55		No	No	
56		No	Yes	Switching Function #1 (CC Range #6)
57		No	Yes	Switching Function #2 (CC Range #6)
58		No	Yes	Switching Function #3 (CC Range #6)
59		No	Yes	Switching Function #4 (CC Range #6)
60		No	Yes	Switching Function #5 (CC Range #6)
61		No	Yes	Switching Function #6 (CC Range #6)
62		No	Yes	Switching Function #7 (CC Range #6)
63		No	Yes	Switching Function #8 (CC Range #6)

Notes: (1) CCはコントロールチェンジを意味します

(2) CCLレンジ#1～#6を選択する方法については、「コンフィギュレーション&セットアップモード」のセクションをご参照ください

(3) Switching Function#1～#8: コントロールバリュー0-63 = OFF、コントロールバリュー0-64 = ON

MIDI Implementation Chart v2.0 (Page 3 of 3)

Manufacturer: MESA Engineering

Model: MIDI MATRIX Amp Controller

Version: 1.x

Date: Apr. 16, 2019

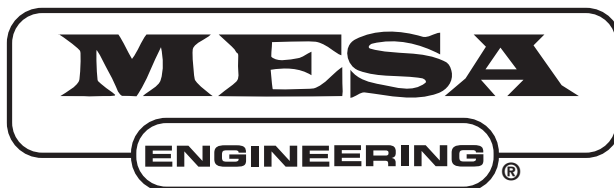
Control #	Function	Transmitted (Y/N)	Recognized (Y/N)	Remarks
64	Sustain Pedal	No	Yes	Switching Function #1 (CC Range #5)
65	Portamento On/Off	No	Yes	Switching Function #2 (CC Range #5)
66	Sostenuto	No	Yes	Switching Function #3 (CC Range #5)
67	Soft Pedal	No	Yes	Switching Function #4 (CC Range #5)
68	Legato Footswitch	No	Yes	Switching Function #5 (CC Range #5)
69	Hold 2	No	Yes	Switching Function #6 (CC Range #5)
70	Sound Controller 1 (Def: Sound Variation)	No	Yes	Switching Function #7 (CC Range #5)
71	Sound Controller 2 (Def: Timbre/Harm. Quality)	No	Yes	Switching Function #8 (CC Range #5)
72	Sound Controller 3 (Def: Release Time)	No	No	
73	Sound Controller 4 (Def: Attack Time)	No	No	
74	Sound Controller 5 (Def: Brightness)	No	No	
75	Sound Controller 6 (GM2 Default: Decay Time)	No	No	
76	Sound Controller 7 (GM2 Default: Vibrato Rate)	No	No	
77	Sound Controller 8 (GM2 Default: Vibrato Depth)	No	No	
78	Sound Controller 9 (GM2 Default: Vibrato Delay)	No	No	
79	Sound Controller 10 (GM2 Default: Undefined)	No	No	
80	General Purpose Controller 5	No	Yes	Switching Function #1 (CC Range #3)
81	General Purpose Controller 6	No	Yes	Switching Function #2 (CC Range #3)
82	General Purpose Controller 7	No	Yes	Switching Function #3 (CC Range #3)
83	General Purpose Controller 8	No	Yes	Switching Function #4 (CC Range #3)
84	Portamento Control	No	Yes	Switching Function #5 (CC Range #3)
85		No	Yes	Switching Function #6 (CC Range #3)
86		No	Yes	Switching Function #7 (CC Range #3)
87		No	Yes	Switching Function #8 (CC Range #3)
88		No	Yes	Switching Function #1 (CC Range #4)
89		No	Yes	Switching Function #2 (CC Range #4)
90		No	Yes	Switching Function #3 (CC Range #4)
91	Effects 1 Depth (Default: Reverb Send)	No	Yes	Switching Function #4 (CC Range #4)
92	Effects 2 Depth (Default: Tremolo Depth)	No	Yes	Switching Function #5 (CC Range #4)
93	Effects 3 Depth (Default: Chorus Send)	No	Yes	Switching Function #6 (CC Range #4)
94	Effects 4 Depth (Default: Celeste [Detune] Depth)	No	Yes	Switching Function #7 (CC Range #4)
95	Effects 5 Depth (Default: Phaser Depth)	No	Yes	Switching Function #8 (CC Range #4)
96	Data Increment	No	No	
97	Data Decrement	No	No	
98	Non-Registered Parameter Number (LSB)	No	No	
99	Non-Registered Parameter Number (MSB)	No	No	
100	Registered Parameter Number (LSB)	No	No	
101	Registered Parameter Number (MSB)	No	No	
102		No	No	
103		No	No	
104		No	No	
105		No	No	
106		No	No	
107		No	No	
108		No	No	
109		No	No	
110		No	No	
111		No	Yes	Switching Function #1 (CC Range #2)
112		No	Yes	Switching Function #2 (CC Range #2)
113		No	Yes	Switching Function #3 (CC Range #2)
114		No	Yes	Switching Function #4 (CC Range #2)
115		No	Yes	Switching Function #5 (CC Range #2)
116		No	Yes	Switching Function #6 (CC Range #2)
117		No	Yes	Switching Function #7 (CC Range #2)
118		No	Yes	Switching Function #8 (CC Range #2)
119		No	No	
120	All Sound Off	No	No	
121	Reset All Controllers	No	No	
122	Local Control On/Off	No	No	
123	All Notes Off	No	No	
124	Omni Mode Off	No	No	
125	Omni Mode On	No	No	
126	Poly Mode Off	No	No	
127	Poly Mode On	No	No	

- Notes: (1) CCはコントロールチェンジを意味します
(2) CCレンジ#1～#6を選択する方法については、「コンフィギュレーション&セットアップモード」のセクションをご参照ください
(3) Switching Function#1～#8: コントロールバリュ-0-63 = OFF、コントロールバリュ-0-64 = ON

MESA/BOOGIE[®]

The Spirit of Art in Technology

Thank you for trusting MESA/Boogie to be your amplifier company and we wish you many years of toneful enjoyment from this handbuilt all tube instrument.



The Spirit of Art in Technology™



ギブソン・ブランス・ジャパン株式会社

Email: service.japan@gibson.com

「@gibson.com」からのメールを受信できるよう設定をお願いいたします

お電話でのお問い合わせ窓口：0120-189433（通話料無料）

受付時間 9:30 - 17:00（土、日、祝日、年末年始を除く）